

地方史情報 116

2013年10月

「地域歴史遺産」の可能性

奥村 弘

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターは、2003年に、阪神・淡路大震災における歴史資料保全活動を契機として成立し、様々な歴史関係者や地域住民とともに地域歴史文化に関わる取り組みを進めてきた。(中略)

本書では、地域の歴史文化を豊かにしていく上で重要な見方として、本書の表題である「地域歴史遺産」という見方を重視する。この「地域歴史遺産」という見方は、阪神・淡路大震災後、重要視され、地域連携センターでの議論でも深められてきたものである。(中略)それがどのような広がりをもつ考え方であるのかということは、各章の論考をお読みいただきたいのであるが、本書では「遺産」という概念に、それを残し続けるという主体的な人々の営みが表現されていることを重視している。古文書であるとか石造物であるとか、考古遺物であるとかという、そこに残された素材の性質に着目するというよりは、残された「もの」を巡る現代日本社会における人と人との関係に注目している。本書の表題の「可能性」については、つねにその素材が、それを地域社会の中で活用し、次の世代へと引き継いでいく人々の姿を想定する中で、位置づけられているところにある。現在の地域社会の危機に対して人々が向き合い、歴史文化を介して、未来に向けた新たな挑戦を試みるとき、その素材はいかなる可能性をもつのか。地域連携センターでは、これを共通認識として深めながら、実践的な取り組みを進めてきたのである。

そのような観点から、本書は、三部構成をとった。「第Ⅰ部 地域社会の変容と『地域歴史遺産』」は、地域歴史遺産という考え方が生まれる現代日本の地域社会と歴史文化のあり方を論じたものである。「第Ⅱ部 『地域歴史資料学』の広がり」は、地域歴史遺産として、次世代に伝えていく人々の姿を、「素材」である歴史資料の中に想定しながら、地域歴史資料を理論的・実践的に研究していく方法を考察する。「第Ⅲ部 『地域歴史遺産』『地域歴史資料学』を担う人びと」では、第Ⅱ部とは逆に、地域歴史遺産や地域歴史資料学に関係する「人々」に注目することによって、現代日本の地域社会の重要な部分である地域歴史文化をいかに展開させていくかという実践的な課題を考察するものである。

(神戸大学地域連携センター編『「地域歴史遺産」の可能性』2013.7、小社刊、「序」より)

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究会会報

〒005-0803札幌市南区川治三条4-6-5 打田
元輝方 TEL011-556-1416／〒062-0007札幌
市豊平区美園七条 1 丁目3-1-507 高木崇
世芝方 TEL011-821-2831 年5000円

◇46 2013.3 B5 6p

「おもしろアイヌ語地名カルタ」
作成に向けて
常呂は、本当は「トゥコロ」なん
だよ 戸部 千春
「アイヌ語地名」看板の紹介／図書
・会誌・会報・論文などの紹介

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目
かでる2・7ビル9階 TEL011-231-4111
www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/

◇336 2013.3 B4 4p

平成25年度の活動に向けて 角 幸博
登録有形文化財に昭和の住宅家屋
道内4件を答申
松前の墓石から見た日本 舟山 廣治
総会並びに文化財めぐりの日程に
ついて
私と文化財 松前城の銅雀台の瓦
硯をめぐって 中村 和之
鷹栖町郷土資料館
文化財を守る 市民により町づく
り活動を考える 東田 秀美
世界文化遺産への登録をめざして
(13)一追加光正資産2・史跡垣

ノ島遺跡 北海道教育庁生涯学習推
進局文化財・博物館課

読者の声

第10回「札幌百科」「王子サー
モン館」土地と建物の“記録
と記憶”

栗山町の文化財、鮭の木彫り(千
瓢彫)のこと 出南 紘
『釧路市内高等学校郷土研究部
資料調査報告書』刊行
第1回文化財保護活動支援チャ
リティ講演会&交流のタベ／
北の縄文フォーラム2013開催
／他団体寄贈の刊行物等／事
務局だより

◆北海道地域文化研究

北海道地域文化研究会
〒004-8631札幌市厚別区大谷地西2-3-1
北星学園大学 高橋克依研究室気付
2009年創刊

◇5 2013.3 A4 59p

北海道におけるコミュニティの形
成一敷しと祝祭の場をめぐり 大濱 徹也
札幌の高校生はアフリカの児童労
働をどのように学び、フェアト
レード活動をどのように行った
かー演劇的手法を用いた「国際
協力」の授業 加藤 裕明
日本近代史の中の草創期の栗山
指導者泉麟太郎 阿部 敏夫
研究ノート 『北海道の口碑伝説』
の評価をめぐって 斉藤 大朋

書評 前川公美夫著『明治期北海
道映画史』 高橋 克依

◆北方民族博物館だより

北海道立北方民族博物館
〒093-0042網走市潮見309-1 TEL0152-45-
3888 1991年創刊 hoppohm.org

◇88 2013.3 A4 6p

表紙 H22.21 トナカイ用シラ
カバ製首輪 ウイルタ ロシ
ア・サハリン 全長34cm
企画展 アイヌ語地名を歩くー山
田秀三の地名研究から 2013・
冬 網走／オホーツク 渡部 裕
講演会 アイヌ文化と「環境」ー私
が学んだことを通して 講師：
本多優子氏 渡部 裕
講座 アイヌ語地名研究と山田秀
三 講師：伊藤せいichi氏 山田 祥子
ロビー展 山口未花子写真展 カ
スカ〜ユニコーンの森の狩猟民
笹倉いる美

講習会 カナダの狩猟民カスカの
ビーズ刺繍ブローチ 講師：山
口未花子氏 笹倉いる美
講演会 グレートジャーニーとそ
の後の旅 講師：関野吉晴氏 山田 祥子
調査報告 2012年度サハリン調査
山田 祥子

春のロビー展 北海道の古地図展
伊能図と北海道の地図の歴史／
北海道北方民族博物館研究紀要
第22号

◆北海道の文化 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目
かでる2・7ビル9階 TEL011-231-4111
1961年創刊

◇85 2013.2 A5 78p

表紙写真および解説 丸瀬布町森
林鉄道蒸気機関車「雨宮21号」山田 大隆
巻頭言 地名も大事な文化財 原 一夫
円空仏 新川 寛
コタンを訪ねて(9)
ー十勝川流域の人々 山本 融定
学校教育における文化財の取り扱
いー伝統と文化を尊重する教育
の充実 遠藤紘之助
学校跡がある廃村を訪ねて
ー中川町大和編 成瀬 健太
ガラス玉の話(3)
山東省博山の玉づくり 越田賢一郎
棟居俊一ー樺太庁長官の文化政策
鈴木 仁
正倉院宝物と光明皇后 西山 厚
平成24年度事業実施一覧

◆うそり 下北の歴史と文化を語る会

〒035-0076青森県むつ市旭町13-48
相馬方 TEL0175-24-3262
年2000円 1965年創刊

◇49 2013.2 A5 116p 1000円

巻頭言 提言 仮称「下北半島・
自然・歴史・民俗博物館」の設
立運動を始めようではないか！
下北半島の文化遺産を保存・活
用する為に！ 前田 哲男
下北の滝・巨木・奇岩(2)
ー写真と文 瀬川 威
田名部村(現むつ市)残留会津人の
不動産ー明治16年の状況 葛西 富夫
南部藩安渡村の歩み
ーむつ市大湊上町の小史 前田 哲男
昭和北歳時記(8) 小川 洋一
「北洋館」の創設に関わって 長内 誠一
特別寄稿 村井家文書からみる近

江日野商人 三浦順一郎
「二北新聞」と記事五題 相馬 努

◆郷土史三沢 三沢郷土史研究会
〒033-0022青森県三沢市字園沢219-211
小比類巻満方 TEL0176-54-2583
2005年創刊

◇9 2013.3 B5 120p 1000円
口絵 岡三沢神楽 岡三沢神楽の
ルーツと舌出し面について／お
そらく他の神楽団体ではもう見
られない“稲刈り舞”の存在 山本 優
巻頭言 新堂 一郎
「日本古地図」考 皆川 勝信
三沢の火炮場(御台場) 小比類巻文幸
三沢の方言 動作にかかわる方言
「さ行」 馬場操／地名方言研究会
三沢のむかし話 小比類巻みつる
稲作伝播の諸説を追う一学会を驚
かせた田舎娘の水田跡 新堂 一郎
三沢の文化財(抄) 県道170号線
沿いと南山から浜身沢周辺の文
化財 小比類巻みつる
「三沢のむかしを語る会」(その2)
開催要項・パネラーのプロフ
ィール
開会行事ご挨拶
記録「三沢のむかしを語る会」
閉会行事ご挨拶
感想文「三沢のむかしを語る会」
に参加して
山崎等／野々宮文知／船田均
会報 (第81号～第90号)

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会
〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34
岩手県立博物館内 TEL019-661-9688
1970年創刊

◇254 2013.3 A4 8p
民俗芸能を支える道具 太夫・囃
子方の被り物「笠＝かさ」
国際化時代と文化財 佐藤 宏
市政に向けての文化財行政 柳村 典秀
「絆」としての郷土芸能 中村 良幸
解体された明治の民家 瀬川 修
吉田松陰「東北遊日記」講座に参
加して 菊池 淳
岩手県立博物館テーマ展 いわて
の昭和モノがたり一戦後復興の
軌跡、震災復興への希望 目時 和哉
続平泉志(18) 供養願文 及川 和哉
「いわて文化財」年4回発行に縮小
愛護協会 新年度事業と予算案
／25年度の事業計画／愛護協会
頒布の本

◆道鏡を守る会通信 道鏡禅師を知ろう
〒989-6156宮城県大崎市古川西館3-4-35
本田義幾方 TEL0229-22-7364 年3000円

◇99 2013.2 B5 8p
供養祭 4月7日13時～15時
勉強会(栃木市・ニューアプロニ
ー)の概要 (本田)
史実(歴史)と伝承(民俗)一勉強会講演での小
林吉一氏の視点
奈良時代に生きた孝謙女帝と道鏡
禅師 小林昌三九
日本語の語源をさぐる 鈴木 暁子
関西の地において 森本 弘之
関東の地から 日野原 正
道鏡情報(1) 新顕正板(栃木県茂
木町設置予定)文案
道鏡情報(2) 用語(道鏡さんに係
わる言葉)の吟味
道鏡情報(3) 横嶋興一郎「薬師
寺之歌」(大正11=1922年10月)

より
おたより

◆秋田県公文書館研究紀要
〒010-0952秋田市山王新町14-31
TEL018-866-8301 1995年創刊
www.pref.akita.ig.jp/koubunsoyo/
◇19 2013.3 B5 114p
講演録 青森県の歴史資料所在調
査について 石塚 雄士
「岡本元朝日記」と秋田藩の修史
事業 佐藤 隆
昭和20年代秋田県の職務分課の変
遷について一本庁事務部局内部
機関 柴田 知彰
絵図の複製化・デジタルデータ化
の経緯と利活用について 太田 研
公文書館の利用者サービス向上を
めざして 鍋島 真
資料紹介 湊八八「日記」(郡方
見回役加勢勤中日記) 文政七
年甲申三月 国季
彙 報

◆秋田県公文書館だより
〒010-0952秋田市山王新町14-31
TEL018-866-8301 1995年創刊
www.pref.akita.ig.jp/koubunsoyo/
◇28 2013.3 A4 8p
仙北郡刈和野一圓之図(県C-91、
133cm×126cm)
開館20周年に向けて 中嶋 辰治
翻刻本『宇都宮孟綱日記』完結
資料紹介
返ってきた一枚の政景日記 佐藤 隆
平成24年度 企画展報告「絵図に
みる近世秋田」／平成24年度
公文書館講座

県政映画上映会一懐かしき昭和
三十年代の我が秋田―公文書
の引渡し・公開状況／平成24年
度 市町村公文書・歴史資料保
存利用推進会議
平成25年度 行事予定のお知らせ
一開館20周年記念行事ほか

◆古文書倶楽部 秋田県公文書館
〒010-0952秋田市山王新町14-31
TEL018-866-8301
www.pref.akita.ig.jp/koubunsoyo/
◇52 2013.3 A4 2p
招魂社と県公園の絵図
―「秋田県行政文書」より 柴田 知彰
秋田県公文書館 開館20周年記念
事業のご案内

◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報
〒999-2232山形県南陽市三間通361-8
須崎寛二方 TEL0238-43-5299
◇193 2013.2 B5 10p
「多彩な文化人 錦三郎」補遺 須崎 寛二
宮内熊野大社史おぼえ書(9) 法
田、台林院の養子となる一統々
続 台林院法田について 須崎 寛二
生漆の小売文書 須崎 寛二
総会議案

◆まんだら 東北文化友の会会報
東北芸術工科大学東北文化研究センター
〒990-9530山形市上桜田3-4-5
TEL023-627-2168 年10000円 1999年創刊
gs.tuad.ac.jp/tobunken/
◇52 2013.2 B5 24p
対談 日本人はどこから来たのか
? グレートジャーニー―人類
と日本人のルーツを探る旅

関野吉晴／田口洋美	
概要と初年度の活動報告	文部科学省戦略的研究基盤形成支援事業
環境動態を視点とした地域社会と集落形成に関する総合的研究	
フィールドワークの現場から	
阿仁集落調査	川崎 那悠
前田村文書調査	菅沼 信輝
研究員からのメッセージ Part2	
開催報告 公開講座 出羽三山の宇宙一羽黒山の開山伝承と景観のコスモロジー（講師 内藤正敏）／最上川の文化的景観—二十一世紀の地域づくりのために（講師 入間田宣夫）／東北文化研究センター交流の広場『東北学』再始動	
◆山形県地域史研究	
山形県地域史研究協議会	
〒990-0041山形市緑町1-9-30	
山形県文化環境部学術振興課分室内	
TEL023-627-7786	2000円
◇38	2013.2 A5 124p 1000円
近江八景と富並八景へ	居駒 永幸
古代村山郡の集落展開と舟運（水	
駅）	阿部 明彦
村山市の城館跡について	保角 里志
新しく発見された白鳥長久書状	鈴木 勲
葉山大円院歴代住職の在任検証	
	大沼與右エ門
羽州私領御手船の造立と大石田河	
岸	小山 義雄
近世中期出羽幕領の廻米請負をめ	
ぐって	本間 勝喜
村山戸沢歴史人物伝について	高橋 幸雄
村山市再発見	佐藤 敏春

厭戦・反戦・平和希求の《軍歌》があった！		鈴木 誠也
鳥海山上御社の造営事例と遷宮法式		神宮 滋
置賜の念仏踊		渡邊 敏和
大庄屋文書から見た酒田の世相(3)		須藤 良弘
◆郡山地方史研究 郡山地方研究会		
〒963-8876福島県郡山市麓山1-8-3		
郡山市歴史資料館内 TEL024-932-5306		
1965年創刊		
◇43	2013.3 B5 144p	
会津加藤領における土免の考察 加藤 義久		
郡山市の中世城館(8) 多田野本郷館と鹿島館／多田野の中世と		
周辺の城館		
	広長 秀典	
田村地域の本城と支城		
	垣内 和孝	
中世安積郡佐々河について		
	渡部 芳雄	
郡山上町・下町の形成と村役人・宿役人について		
	柳田 和久	
三春教会百十三年史一子守学校から幼稚園の開園、農民福音学校の開設まで		
	庄司 一幸	
「みちのく」と「万葉集」		
	佐藤 精一	
地方史余滴 南奥州の近世に生きた人々(1)		
	糠沢 章雄	
婆ちゃんの昔話・馬繫石		
	佐藤 兵一	
那須地方の史跡めぐりに参加して		
	橋本 禎子	
平成24年度郡山市教育功労賞授与報告		
大河峯夫氏に市教育功労賞授与／新役員大成の発足／会員出版図書紹介「東の良斎 西の拙堂 対談」齋藤正和・安藤智重著／訃報 安藤宮司・石井儀一郎／事務局日誌		

◇別冊	2013.3 B5 16p	
「郡山地方史研究」創刊～42号		
項目別分類索引		小林 剛三
総論／政治・社会（古代・中世、近世、近代・現代）／産業（安積開拓）／災害／宗教・民間信仰／学芸／遺跡・石造塔（遺跡・出土品、石造塔・碑）／交通・旅行（付・奥の細道）／芸能／民俗その他（生活、民話・民謡関係、人物、地名・人名、随想、提言）／見学会・展示会（見学会・探訪会、展示会）／特集号関連記事／慶弔関係（受賞、追悼）／書評・会員出版図書紹介／研究会の歩み		
◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団		
〒960-8116福島市春日町5-54		
TEL024-534-9193 2002年創刊		
www.history-archives.fks.ed.jp		
◇35	2013.2 A4 4p	
山本権八父子と『旧会津藩士戦死名簿・貫属士族名簿』『旧会津藩士戦死名簿』（福島県神社庁文書553号、部分）		
	渡邊 智裕	
春日神社の神道裁許状		
	渡邊 智裕	
高札建置願いに見る庶民の姿		
	小野孝太郎	
被災ミュージアム再興事業について		
	山内 幹夫	
震災資料の収集と活用に関する課題		
	本間 宏	
地域研究会活動情報		
NPO法人常磐炭田史研究会		
	野木 和夫	
歴史資料館の一年		
	本間 宏	
◆福島県史研究 福島県史学会		
〒960-8251福島市北沢又字東谷地西3-5		

年3000円	1951年創刊
◇91	2013.3 A5 98p
佐竹義重の新田・館林両城攻撃 菅野 郁雄	
戦国期伊達氏周辺における「骨肉」の用法	
	小豆畑 毅
小山の「評定」の真実	
	高橋 明
近世における安積郡の水利について(上)	
	柳田 和久
文久三年の奥州中村藩江戸警備と在郷給人郷士	
	水久保克英
高子二十境と「永慕編」・「永慕後編」の成立過程	
	幕田 一義
平成24年度 福島県史学会総会、並びに研究報告会	
あとがき 小峰城跡石垣の崩落(3)	
関 東	
◆茨城県史研究 茨城県立歴史館	
〒310-0034水戸市緑町2-1-15	
TEL029-225-4425 1965年創刊	
www.rekishikan.museum.ibk.ed.jp	
◇97	2013.3 A5 122p
茨城県南部における弥生式後期前半の土器様相—新治台地における原出口1式・2式、松延1式・2式の設定	
	海老澤 稔
豊臣政権の関東・奥羽政策	
	中野 等
水戸藩教育史の原点	
	鈴木 暎一
茨城県における私立女学校の展開	
	一水戸常磐女学校・常磐高等女学校を中心として
	佐藤 環
アーカイブズ運動とアーカイブズ学研究への途	
	高橋 実
書評 『茨城県立歴史館史料叢書 15 常陸編年』	
	佐々木倫朗
県史関係文献目録(36)	
◆茨城県立歴史館報	

〒310-0034水戸市緑町2-1-15
TEL029-225-4425
www.rekishikan.museum.ibk.ed.jp
◇40 2013.3 B5 122p
古代の郷名が書かれた土器について
小澤 重雄
一橋家の諸家交際にみる奥向の役割—初世宗尹期を中心として 笹目 礼子
内藤業昌・渡辺崋山・椿椿山、近世末の肖像画の考察 原口 知武
小学校資料の保存と活用について
—茨城県立歴史館における小学校所蔵教育資料調査事業を中心に 鈴木 教郎
茨城県立歴史館展示物を生かした授業づくりについて 川松修一／小倉朗
平成24年度地域共同史料調査概要報告 歴史資料課
茨城県立歴史館日誌(40)

◆茨城の思想研究 茨城の思想研究会
〒310-0042茨城県水戸市自由が丘5-50
桐原邦夫方 TEL029-225-8609
◇12 2013.2 A5 100p
巻頭言 「政権交代」に何か意味があったのか 桐原 邦夫
提言 福島第一原発事故以後の私漂流する日本 高村 主水
論文 宗教思想としての「農本主義」—橋孝三郎にみる「現人神」と「イエス・キリスト」 菅谷 務
歴史随想 福島・喜多方事件に関する一考察—会津自由党と「敗北の素因」を中心として 幕内 満雄
時事論評 「右傾化」の中の総選挙 政党政治の危機を考える 武藤 功
武井邦夫先生の御逝去を悼む 桐原 邦夫
詩作 古典古代インドの四季 吉兼 才三

総会と研究会の経過

◆常総中世史研究 茨城大学中世史研究会
〒310-8512茨城県水戸市文京2-1-1
茨城大学人文学部 高橋修研究室
TEL029-228-8120 2013年創刊
◇1 2013.3 A5 106p 500円
創刊の辞 高橋 修
研究 結城合戦絵詞の錯書簡について 藤本 正行
レスキューされた伊達政宗の「密書」—新発見 ひたちなか市菊池家蔵「小野崎文書」の翻刻と解説 茨城史料ネット
動向 東国武士団論の可能性Ⅱ—山本隆志著『東国における武士勢力の成立と展開』を読んで 高橋 修
調査報告 東野城跡とその周辺
—「つなぎの城」の全体像 五十嵐雄大
長倉城跡とその周辺(補遺) 額賀 大輔
資料紹介 常陸大宮市内における佐竹氏所縁の開基木像 高村 恵美
2011年度 古代中世史関係提出論文／2012年度 古代中世史関係提出論文

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会
〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
TEL027-223-2785 年4500円 1973年創刊
www16.plala.or.jp/kuzira226/
◇228 2013.3 A5 56p
箕輪城から彦根城へ 西原 巖
信州松岡城と井伊直政 大塚 實
れきさんサロン
短歌 筑紫を行く 平田 経子
伊豆大島への渡船

欠航で急遽予定を変更 事務局
片品の生んだ偉大な書家「荻原賢和」の碑を訪ね歩く(1) 高山 正
前橋市西片貝町にあった片貝城の話 福島 守次
松島榮治先生の「近世考古学の幕開け」を聴こう 四十周年記念実行委員会
高山彦九郎日記による歴史散歩(35)『江戸日記』(1) 正田 喜久
星野翁碑の解説 北爪 隆雄
三位一体の村おこし—行政・道の駅こもち・観交(光)案内 金井 好彌
支部だより(伊勢崎あずま支部) 大橋 正彦
歴史散歩の報告(事務局企画) 山崎 正
平成25年度行事予定(案)事務局だより

◆上州文化 群馬県教育文化事業団
〒371-0801前橋市文京町2-20-22
TEL027-224-3960 1980年創刊
www.gunmabunkazigyodan.or.jp
◇133 2013.2 A4 14p
巻頭言 書家の思い 天田 研石
ぐんまミュージアム散歩(5) 愛と執念のコレクション 「会いたい絵」に癒される 大川美術館 桑原 高良
上野東歌探訪 山名丘陵の歌碑について(前回の補足)／「八尺の井出に」の歌について／「虹」について／「子持山」の歌について 北川 和秀
群馬県教育文化事業団 INFORMATION 平成25年度 第50回群馬県文学者受賞者／平成25年度 群馬県教育文化事業団高等学校等奨学金 奨学生募集!!
地域文化をつなぐ

地域の伝統文化平獅子舞 角田 浩一
宇宙と生命の絵画 橋高 みさ
自然環境調査からみた群馬の湿原と植物 赤城覚満湿原 片野 光一

◆玉村通信 玉村中世史研究会
〒370-1105群馬県佐波郡玉村町大字福島325 玉村町教育委員会生涯学習課文化財係 中島方 TEL0270-30-6180 2011年創刊
◇3 2013.3 A4 6p
第5回例会発表記事
2012年7月28日(土)
環濠屋敷跡編年案 黒澤 照弘
玉村町における自然河道と用水 中島 直樹
研究ノート 15世紀興産における城館の形成と都鄙の両公方—五十子陣と新田金山城 森田 真一
出版トピックス・研究動向 調査報告書・研究レポート・講演活動レポート 第6回例会現地見学 宇津木氏関連史跡などをたずねて 飯森 康広
活動記録 全体会・地図検討グループ・考古遺物検討グループ

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4
板橋春夫方 1979年創刊
◇133 2013.3 B5 4p
15世紀後半の上越国境領主一藪神・利根両発智氏の事例から 森田 真一
『三右衛門日記』にみる屋敷堀のカイボリと釣り 中島 直樹
第96回例会記事

◆日本の石仏
日本石仏協会(発売:青娥書房)
〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29

TEL042-971-6512 年8000円 1977年創刊
 www3.ocn.ne.jp/~bosatu/sekibutu/sekibutu1.html
 ◇144 2012.12 A5 80p 2100円
 巻頭随想 二つの旅の報告 坂口 和子
 《特集 役行者・蔵王権現》
 蔵王権現と座王大権現 時枝 務
 蔵王権現と役行者 中上 敬一
 飯道山山麓役行者石像と行者講・
 大峰講について 黄瀬三朗／関谷和久
 山梨県北杜市内の役行者石像 佐藤 勝廣
 福井県の役行者・蔵王権現 北村 市朗
 越中・飛騨の役行者石像と蔵王権
 現 平井 一雄
 役行者 伝承の地を訪ねる 井戸 寛
 役行者・蔵王権現 三題 嘉津山 清
 東国の山岳にみる蔵王権現 田中 英雄
 誌上講座
 名号塔の知識(12) 岡村 庄造
 「石」を知る(34) 小松 光衛
 石燈籠入門(54)最終回 嘉津山 清
 誌上講座 石仏写真と私(34) 杉本 康希
 あ・ら・か・る・と一私の石仏案内
 南紀の丸石神
 和歌山県串本町田並上 宇野 瑛司
 稚児大師 富山県高岡市蓮花寺
 町 蓮華寺 滝本やすし
 一泊石仏見学会報告 岐阜県高根
 町日和田高原石仏巡り 前川勲／新井るい子
 第95回石仏見学会報告
 北区王子周辺の石仏 清水 亨桐
 会員の広場
 「實利二代行者」 早川 孝正
 多良岳の役行者像 中野 高通
 峰と「天社神」碑の思い出 正富 博行
 会員の広場 万仏山への仏の道 島田 常雄
 はがき通信 門間勇／遠藤康子
 石仏交流

石仏談話室／第37回総会のお知らせ／平成25年度石仏見学会予告／第97回石仏見学会案内
 ◆印旛郡市地域史料保存利用連絡協議会会報
 〒285-0922千葉県印旛郡酒々井町中央台4-10-1 酒々井町教育委員会生涯学習課文化財班 TEL043-496-5334
 ◇17 2013.3 A4 4p
 平成24年度検討会
 歴史公文書の選別基準 戸谷 敦司
 第3回研修会 中澤恵子氏「残された公文書」から「残す公文書」へ を聞いて 土佐 博文
 第4回研修会 研修会『市町村「公文書等選別収集基準ガイドライン」策定について』 渡辺 祐一
 平成24年度事業報告
 ◆佐倉市史研究
 佐倉市総務部総務課市史編さん担当
 〒285-0038千葉県佐倉市弥勒町78
 TEL043-486-3478 1983年創刊
 ◇26 2013.3 A5 126p
 『佐倉市史』考古編の刊行にむけて 近森 正
 講演録 昌平坂学問所に学んだ佐倉藩士一門人帳の分析から 関山 邦宏
 研究
 戦国期下総臼井氏をめぐる諸問題一「家譜」の性格と政治的位置を中心に 石渡 洋平
 佐倉藩代官による飛地領支配の実態一武蔵国横見郡久保田村を事例に 高木 謙一
 平井家文書による佐倉の郵便創業事情 白土 貞夫
 資料紹介

佐倉藩士香宗我部氏と家伝文書 菱沼 一憲
 佐倉新町吉田家文書 分家関係 資料 土佐 博文
 再考・島田彦三郎 矢嶋 毅之
 市史編さん事務局から
 資料調査報告 佐倉城内曲輪分絵図・佐倉城外新町分間絵図
 資料調査報告 購入資料紹介 堀田弾正・於益婚姻関係諸帳合冊
 佐倉市の出来事（平成24年1月～12月）／受贈図書目録（平成24年1月～12月）／市史編さん担当日誌抄（平成24年1月～12月）
 ◆千葉県立中央博物館研究報告一人文学
 〒260-0852千葉市中央区青葉町955-2
 TEL043-265-3111 1989年創刊
 www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/
 ◇26 (13-1) 2013.1 B5 81p
 調査報告 梵天に見る房総の出羽 三山信仰の現在 小林 裕美
 ◆東邦考古 東邦高等学校考古研究会会誌
 東邦考古学研究会
 〒275-8511千葉県習志野市泉町2-1-37
 東邦大学附属東邦高等学校内
 TEL047-472-8191 1963年創刊
 ◇37 2013.3 B5 112p
 刊行の辞
 研究ノート 千葉県内の竪穴式住居跡の面積(22) 東邦考古学研究会
 群馬県的大型前方後円墳の墳形をめぐって一黒川小塚1号墳と箸墓古墳の比較から西殿塚古墳類型を考える 坂本 和俊

上総の玄関口＝富津州とその周辺
 一遺跡と古墳、古墳と遺跡を結ぶ道 酒巻 忠史
 山田孝雄の神道思想 寺崎 信之
 袖ヶ浦市郷土博物館所蔵の有角石器 實川理／光江章
 習志野騎兵連隊歴史的建造物の発見一東邦大学習志野キャンパスに現存する騎兵連隊建造物（現・武道場） 吉満 貴志
 オールウェズ 大久保今昔物語(2) 小川誠治／山岸良二
 近年の注目された考古学成果について一市民プラザ大久保 考古遺物展示会記念講演会記録 山岸 良二
 2012年度夏期尾張・関ヶ原合宿日記 中崎 優毅
 受贈・交換文献一覧 東邦考古学研究会
 ◆西上総文化会報
 〒292-0833千葉県木更津市貝渕1-11-4
 TEL0438-25-2003
 ◇73 2013.3 B5 123p
 《60周年記念号》
 巻頭言
 会報第73号発刊にあたって 藤浪 弘美
 研究論文など
 西上総文化会60周年を顧みて 藤浪 弘美
 房総知県事による仁倉嘉平次の顕彰作戦 三浦 茂一
 近世木更津周辺の石工 稲木 章宏
 市原市石川の龍溪寺と旧請西藩主 林家の墓石について 諏訪 貞夫
 樋口盛秀考 八田 英之
 村の浅間神社信仰の考察 鈴木 貢
 高柳不動堂と大山寺不動尊について 亀田 慎
 白石の領地 白岡市を訪ねて 石井喜美代

子等はよく群れて遊んだ
 一故郷回想 (5) 曾根 英範
 囲碁一魂のほど見ゆる 橘田 昭雄
 軽井沢研修の思い出 叶川 秀雄
 戦地からの手紙 諏訪 貞夫
 白夜のロシア紀行 梶 薫之
 狸査知
 タぬきのキン○マ八畳敷 関 狸亭
 陸奥宗光の手紙 岡本 旭
 祝賀をうけて
 西上総文化会と私 上杉 義隆
 私の行政相談員活動 鬼形むつ子
 生きている証 児玉江美子
 言葉という文化について考える 金子 馨
 観音信仰とて私のルーツ 曾根美代子
 『図説 木更津のあゆみ』の出版 橘田 昭雄
 移動研修レポート
 「裏筑波地方」を訪ねて 鬼形むつ子
 万葉歌碑の里 うまくたをゆく 高木 秀子
 例会とその内容
 第599回例会
 西上総文化会総会と懇親会
 第600回例会 移動研修Ⅰ 裏筑
 波地方を訪ねて
 第601回例会 研修発表Ⅰ 講演
 「新井白石関係の資料と保存」
 坂井昭先生
 第602回例会 移動研修Ⅱ 西遠
 州・奥浜名湖及湖西地方の名
 刹を訪ねて
 第603回例会 第64回 創立60周
 年記念 第64回西上総文化展
 第604回例会 祝賀と忘年の会
 第605回例会 研究発表Ⅱ 講演
 「近世木更津周辺の石工」 稲

木章宏会員
 第606回例会 移動研修Ⅲ 万葉
 歌碑の里 うまくたをゆく
 文芸作品
 俳句 太古の風 鬼形むつ子
 短歌 生きなさい 石井 重雄
 短歌 春を待つ 橘田 昭雄
 短歌 春の雪 児玉江美子
 哀悼のことば
 林栄一様を悼む 藤浪 弘美
 榎本昌子さんを偲んで 高木 秀子
 歴史ミニ情報 ならぬことはなら
 ぬ／「八重の桜」の照姫／小弓
 公方足利義明と真里谷武田氏／
 幕末の高須藩四兄弟／市川団十
 郎と成田屋



*千葉県木更津市、袖ヶ浦市、富津市域等を
 エリアとする西上総文化会は、昭和27年に当
 時の県立木更津第二高校校長 隆高鑑氏を会
 長に、西上総郷土文化懇話会として設立され
 た。その頃、菅生遺跡や金鈴塚古墳など発掘
 調査の成果が、郷土の文化遺産を見直そうと
 する機運を高めたという。それから60年、月
 例会は600回を越え、会誌も73号と、着実な
 歩みを刻んで今日にいたっているのは素晴ら
 しいことだ。活動は、地域史や民俗、文
 化財等をテーマとする研究発表会、地域内外

を歴史探訪する移動研修会のほか、歴史・文
 化資料を展示する西上総文化展も64回にな
 る。昨年、木更津市が市制施行70周年を記念
 して刊行した『図説 木更津のあゆみ』には、
 文化会会員が編集委員長や委員として参加す
 るなど、長年の地域研究の成果が反映されて
 いる。現在会員数は110名、この規模を維持
 し長く活動を継続して行ってほしい。

◆松戸市立博物館紀要

〒270-2252千葉県松戸市千駄堀671
 TEL047-384-8181 1994年創刊
 www.city.matsudo.chiba.jp/m_muse/
 ◇20 2013.3 A4 34+23p
 論文 行為の展示を考える 青木 俊也
 研究ノート
 ごみ戦争とポリパール 中村次
 雄氏寄贈資料との関連から 山田 尚彦
 明治初年の開墾局職員について 柏木 一朗
 史料紹介 松戸市立博物館所蔵
 「享保九年御用向留帳」—享保の
 小金牧改革関係史料 小高 昭一

◆まつどミュージアム 松戸市立博物館

〒270-2252千葉県松戸市千駄堀671
 TEL047-384-8181
 www.city.matsudo.chiba.jp/m_muse/
 ◇21 2013.3 A4 4p
 コレクション紹介 木葉形尖頭器
 (子と清水遺跡出土)
 市制施行70周年・開館20周年記念
 館蔵資料展「写真でみる松戸市
 の70年」／同時開催「松戸市率
 博物館20年のあゆみ」
 学芸員室から
 コレクションについて 小高 昭一
 アンケートボックスの中の声 常

設展示アンケートより こども
 にわかりやすいように!! (10
 代・女性／小学生)
 行事案内(～2013年度前半分)／ミ
 ュージアムショップの新商品

◆アーカイブズ 独立行政法人国立公文書館
 〒102-0091東京都千代田区北の丸公園3-2
 TEL03-3214-0621 www.archives.go.jp

◇49 2013.3 A4 78p
 カラーグラビア
 〈特集 地方自治体における公文書管理、公
 文書館をめぐる動向〉
 福岡共同公文書館の開館とその取
 組について 小原 康弘
 公文書管理条例が拓く新しい公文
 書館—公文書等の管理に関する
 条例の制定と鳥取県の取り組み 西村 芳将
 札幌市の文書管理の取組について 高井 俊哉
 新潟市におけるアーカイブズ事業
 の展開と文書館設置の課題 長谷川 伸
 高松市における公文書管理に關す
 る取組について—文書管理体制
 制再構築事業 三好久美子
 公文書管理条例の制定と安芸高田
 市の文書管理改善活動 高下 正晴
 小布施町の取組について 山岸正男／原田知佳
 「公文書の世界 in 京都」を開催し
 て 福島 幸宏
 神奈川県立公文書館におけるデジ
 タルアーカイブ 岡 悦郎
 福岡共同公文書館の展望：公文書
 管理と公文書館の役割—福岡共
 同公文書館開館記念講演より 高山 正也
 地方自治体における公文書の管理

に関する最近の取組 本村 慧
 欧州における電子記録管理に係る
 取組み—MoReq とその変遷 岡本 詩子
 市民アーキビストが開くアーカイ
 ブズの未来—NARA のソーシ
 ャルメディア戦略 小原由美子
 被災公文書等修復支援事業の成果
 について 下重直樹／矢澤大輔
 平成24年度アーカイブズ研修Ⅲ等
 の開催と平成25年度研修計画に
 ついて／国立公文書館の動き
 (平成24年10月～25年2月)／平
 成25年春の特別展のご案内

◆赤米ニュース 東京赤米研究会
 〒186-0005東京都国立市西3-7-29 アゼリ
 ア国立Ⅱ101 長沢方 TEL042-577-6855
 ◇192 2013.3 B5 8p
 おしらせ 今年度用の種籾を配布
 します／おたより 長いシメ縄
 (長沢利昭)
 福岡県のとうほし田・たいとう田
 菅野 郁雄
 赤米雑話(148)
 83 福井県の赤米・つづき 長沢 利明

◆あしなか 山村民俗の会
 〒132-0031東京都江戸川区松島1-19-17
 サトービル TEL03-5663-6748
 年5000円 1939年創刊
 www.8.ocn.ne.jp/~sanmin/
 ◇297 2013.2 B5 24p
 表紙解説「天一位大原大明神神影
 図」(京都府福知山市) 岡部 一稔
 明智光秀の祠—丹波・稲畑村御霊
 神社の歴史と伝説 岡部 一稔
 小滝金峰神社のチョウクライロ舞
 —鳥海山麓 象潟の修験芸能を

見る 山田 哲郎
 あしなか通信／会員著書／会員異
 動／平成24年度収支報告／第式
 百九拾五・六輯 訂正／寄贈刊
 行物／現地探索行事報告 武甲
 の里山を歩く

◆足立史談
 足立区教育委員会足立史談編集局
 〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
 ◇541 2013.3 A4 4p
 夭折の俊才画家 高橋廣湖 真田 尊光
 1600年前の伊興遺跡(1)—古式須
 恵器と祭祀遺物から考える古墳
 時代の伊興遺跡 田中千代吉
 縁故疎開ですごした北鹿浜町の想
 い出(4) 鹿浜の椿分教場への
 編入(2) 小川誠一郎
 戦前戦後の小右衛門町の思い出
 (4) 金井 富江

◆足立史談会だより
 〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
 ◇300 2013.3 A4 8p
 合衆国首府「ワシントンの桜」(6)
 エリイザ・R・シドモア女史(2)
 ／フェアチャイルド博士の桜培
 養の成功(1)
 足立区の文化財 有形文化財(古
 文書) 検地帳 永野家文書・
 下川家文書・高橋家文書・鴨下
 家文書・金子家文書・星野家文
 書・吉岡家文書・唐松家文書、
 性翁寺文書 1点、高田家文書
 3点
 足立史談カルタ紹介 「な」名倉

は接骨院の代名詞／「ら」落語
 家円朝の石灯籠
 汐入・小塚原探訪
 足立史談会へ繋ぐ「葛飾史談」10
 号 昭和26年 千住舊考録(1)
 永野彦右衛門記 拝本英太郎校
 ／足立史談会へ繋ぐ「葛飾史談」
 11号 昭和26年 千住舊考録
 (2) 永野彦右衛門記 入本英
 太郎校／足立史談会へ繋ぐ「葛
 飾史談」16号 昭和29年 千住
 舊考録(4) 永野彦右衛門記
 入本英太郎校
 足立史談会へ繋ぐ「葛飾史談」19
 号 昭和33年2月 佐野氏邸訪問
 記 田辺彌太郎
 投稿 隅田川にかかわる人間模様
 野中 徹也

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館
 〒183-0026東京都府中市南町6-32
 TEL042-368-7921 1987年創刊
 www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
 ◇103 2013.3 A4 8p
 年中行事の現在 in 府中(4)
 鯉のぼり 佐藤 智敬
 展示会 企画展 大西浩次星景写
 真展—天・空の記 本間 隆幸
 NOTE
 蘇民招来の子孫と武蔵府中 佐藤 智敬
 知る人ぞ知る！府中ゆかりの人物
 (8) 田中屋万五郎 花木 知子
 最近の発掘調査 中世以降の斜行
 道路跡を発見 宮西町一丁目 野田憲一郎
 町にまつわる雑学講座—一分梅町

◆板橋史談 板橋史談会
 〒174-0076東京都板橋区上板橋2-30-7-104

TEL03-5398-2682 1966年創刊
 ◇275 2013.3 A5 33p
 相模流萩原正義社中と里神楽 石塚 輝雄
 向原の昔(4) 講・寺社との関連 三原寿太郎
 高島秋帆・その養子と熊本神風連
 の乱 猪瀬 尚志
 表紙画を担当して 醍醐鉄三男
 ひろば
 伊藤前会長・小林会長両先生受
 賞を祝う会開催 大澤 鷹邇
 中川政彌さんの思い出 泉 貞代
 史談会のあゆみ(12月・1月)／短
 報 板橋史談会から各種改定の
 お知らせ、第11回「櫻井徳太郎
 賞」授賞式参加記、受贈図書日
 録(1月・2月) 事務局

◆奥武蔵 奥武蔵研究会
 〒169-0075東京都新宿区高田馬場2-10-12
 加藤恒彦方
 ◇390 2013.3 B5 19p
 《3000回山行記念号》
 ついに3000回登山を達成 加藤 恒彦
 西部池袋線車窓の三角点 藤本 一美
 奥武蔵・秩父の獅子舞(45)
 一金尾、白髪神社の舞 関口 洋介
 奥武蔵・秩父地域に於ける山岳遭
 難 町田 尚夫
 安全対策部コラム 第1回
 地図読み(1) 坂田 康明
 山岳保険加入のススメ 安全対策部
 山行報告
 スカリ山とエビガ坂 成川 茂雄
 天狗山・野上峠・権田山 藤本 一美
 亀戸七福神 スカイツリー周辺
 を巡る 秋澤 英雄
 子の権現初詣山行 小泉 重光
 源氏山から鶴ヶ岡八幡宮 成川 茂雄

奥武蔵中世の城跡を歩く(27)	
秩父編(22) 仲山城・虎ヶ岡	
城	飯塚 孝雄
湯河原の山 南郷山と幕山	成川 茂雄
官の倉山・石尊山	西東 昭夫
3000回記念 物見山集中	
Aコース・高麗駅から	藤本 一美
Bコース・東吾野駅から	成川 茂雄
Cコース・八高線毛呂駅から	
	岡野 守
会務報告／山行計画	
◆北区史を考える会会報	
〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10	
大澤栄美方 TEL03-3907-0040	1986年創刊
◇107 2013.2 B5 10p	
第31回定期総会	阿部 倬子
第360回 月例研究会 大正を駆け	
抜けた赤羽の光 日本製麻ーリ	
ネンと理念に憑かれた男達	有馬 純雄
第361回 講演会 中世の岩淵を探	
る一岩淵の今まで知られなかつ	
た歴史の扉をあける	谷口 榮
「デジタル会報セット」発売のお	
知らせ	谷口 榮
お知らせ／訃報 芦田正次郎先生	
のご逝去を悼む	
◆郷土史 八王子市川口郷土史研究会	
〒192-0151東京都八王子市上川町3160-9	
車田勝彦方 TEL042-654-3101	
◇34 2013.2 B5 16p	
「どんど焼き」	車田 勝彦
平成24年総会・新年会	
八王子のむかし話を聴く	瀬沼 秀雄
特別寄稿 二宮金次郎の遺産	瀬沼 和重
平成24年度春の見て歩き 八王子	
駅周辺の八十八景と史跡を歩く	

	福島 忠治
武者行列の醍醐味 北條五代祭り	
と北條氏照まつり	秋山 正勝
二年ぶりの透谷祭	伊藤 勝之
郷土史講演会 八王子市生涯学習	
センター川口分館共催 小谷田	
子寅の足跡ー川口に近代学問を	
広めた千人同心の先覚者 川口	
町 五味元／松本斗機蔵の生涯	
と業績 学習院大学名誉教授	
大野延胤	杉田 博
平成24年度 川口中学校総合学習	
「地域学習」指導報告	齋藤 三男
郷土俳壇	
八王子大善寺の「お十夜」が復活	
ー八王子城落城の戦死者の慰霊	
が始まり	山本 仁
平成24年度秋の史跡巡り	
吉見百穴とコロボックル伝説	玉利 勝範
第5回 高尾山とんとん地蔵尊会	岩本 行雄
聞書 川口・少し昔の暮らし(5)	
獅子舞と賽の神ー久保喜一さん	岡村 繁雄
行事報告 一年を振り返る／訃報	
小池邦男氏	
◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会	
〒160-0012東京都新宿区南元町13-7	
TEL03-3355-4188	
◇189 2013.3 B4 8p	
南三陸の海はどこまでも青く 宮	
城県本吉郡南三陸町戸倉 波伝	
谷の春祈祷	久保田裕道
平成25年度催しもの決まる 地方	
大会は6月、春季大会は7月に	
地方大会は住吉大社の御田植神事	
へ 6月13日(木)～14日(金)	
重要無形民俗文化財お祭り／田	

植の神事とさまざまな芸能	
関西支部 秋季学術大会／平成25	
年度 儀礼文化学会催しもの案	
内／平成25年度 催しもの参加	
申し込みについて	
レポート	
儀礼文化講座 仏教「浄土真宗	
の儀礼ー葬墓制を中心にー」	
本林靖久	佐々木 寛
儀礼文化セミナー くらしの民	
俗「青森県のくらしの民俗」	
豊島秀範	佐々木 寛
儀礼文化セミナー 新宗教「立	
正佼正会の涅槃会」	後藤 正明
4団体協働で起ち上げ 無形文化	
遺産情報ネットワーク始動	久保田裕道
くらしひとこと 旬のはまぐり	柳原 紀子
◆自由民権 町田市立自由民権資料館紀要	
〒195-0063東京都町田市野津田町897	
TEL042-734-4508	1987年創刊
◇26 2013.3 A5 150p	
論文 「御殿峠騒擾事件」に賭け	
た十代目長谷川彦八一「近代化」	
の決意	金原 左門
寄稿 板垣退助・植木枝盛記『通	
俗無上政法論』の構想について	
ーカント平和論を引照しつつ 野田 秋生	
史料紹介 「名家尺牘」(青木晃家	
文書) 第一巻	友田 昌宏
書 評	
自由民権運動を描くということ	
ー安在邦夫『自由民権運動史	
への招待』と成田龍一『近現	
代日本史と歴史学』をてがか	
りに	金井 隆典
中嶋久人『首都東京の近代化と	
市民社会』	石居 人也

読書案内	編集部
2012年度 第1回企画展「絵図でみ	
る町田ーPart2ー」の記録	
講演抄録 古地図を読む	上原 秀明
2012年度 第2回企画展「あるく郷	
土史家、天野佐一郎」の記録	
講演抄録	
小学校校長としての天野佐一郎	
ー日露戦争期の銃後活動の中	
心に	河合 敦
郷土史研究へのまなざしー天野	
佐一郎と八王子史談会	保坂 一房
民権ネットワーク	
秋田県	田口勝一郎
埼玉県	鈴木 義治
千葉県	矢嶋 毅之
東京都	福井 淳
町田市	松崎 稔
新潟県	横山 真一
長野県	中島 博昭
福井県	池内 啓
静岡県	加藤 善夫
滋賀県	苗村 和正
高知県	松岡 僖一
熊本県	堤 克彦
鹿児島県	久米 雅章
旧幕臣	樋口 雄彦
田中正造	赤上 剛
文 学	西田谷 洋
自由民権運動関係文献情報(26)	
おもな購入図書・資料一覧／個人	
寄贈図書・資料一覧	
◆城郭史研究	
日本城郭史学会(発売:東京堂出版)	
〒174-0042東京都板橋区東坂下2-4-3-1103	
TEL03-3967-1948	年6000円 1968年創刊
◇32 2013.3 B5 153p 2700円	

《特集 戦国城郭の築城・維持管理・合戦》
 戦国合戦と鉄・鋤・埋草 盛本 昌広
 中世軍勢の工兵隊化について
 一攻城時土木作業の進展 佐脇敬一郎
 戦国期城郭の維持・管理・生活
 一近世城郭との比較から 竹井 英文
 戦国期の城下集落 形成過程の考
 察一東国の宿・宿城・根小屋を
 中心に 西ヶ谷 恭弘
 研究ノート 天守建築意匠にみる
 組千鳥破風の考察一組千鳥破風
 の出現とその意義 阿部 和彦
 調査報告 宝達山野田城跡一能登
 宝達山地にみる畝状遺構につい
 ての考察 高井 勝己
 砕玉類題
 宮内公文書館所蔵「小田原城絵
 図」について 安藤 眞弓
 江戸時代旗本陣屋の研究 岩佐 悟
 虎山長城・瀋陽城故宮・大連を
 巡る一第5回中国の城郭・長
 城旅行会に参加して 釣 正志
 城郭史関係論文目録 阿部 和彦
 平成23年度日本城郭史学会 活動
 報告／受贈図書紹介

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9
 新村康敏方 1973年創刊
 www.sugi-chiiki.com/rekishikai/
 ◇238 2013.3 A4 8p 400円
 区制施行80周年記念講演 新居格
 一文学と政治のあわいで一その
 思想と区長としての葛藤
 7月15日 萩原茂先生 (新村)
 第489回例会記 「公選初代杉並区
 長・新居格氏について」に出席
 して 荒井 泰樹

ニイカクさんを偲ぶ 鈴木 道子
 都市近郊村の諸問題(最終回)
 一武蔵国豊嶋郡角筈村 速水 融
 西新宿の思い出 植原 菊郎
 島津家菩提寺 大円寺より新資料
 新村 康敏
 本陣山遺跡現地見学説明会

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1
 大島方 年2000円 1957年創刊
 www11.ocn.ne.jp/~oinari/
 ◇222 2013.3 B5 33p
 災禍転福貧乏神社の信仰と儀礼
 財津 直美
 虎が石と虎の石塔 大島 建彦
 茨城県神栖市の星福寺と蛭霊神社
 の養蚕信仰 近江 礼子
 子ども組(セイトッコ)の社会的機
 能一神奈川県三浦市初声町三戸
 のお精霊流しを事例として 清水 亨桐
 パナンパ・パナンパ民譚にみられ
 る対称表現と調和(下) 大喜多紀明
 雑 報

◆戦国史研究

戦国史研究会(発売:吉川弘文館)
 〒113-0033東京都文京区本郷7-2-8
 TEL03-3813-9151 1981年創刊
 ◇65 2013.2 A5 52p 667円
 伊達領国の展開と伊達実元・成実
 父子 佐藤 貴浩
 越相同盟交渉における北条氏照の
 役割の再検討一第二次関宿合戦
 との関係から 儘田めぐみ
 羅針盤
 御館の乱における新出の武田勝
 頼書状 海老沼真治

瑞泉寺顕秀と上杉謙信 竹間 芳明
 今川氏真・同夫人画像の伝来事
 情 大高 康正
 桂川合戦前夜の細川晴元方によ
 る京都包囲網 馬部 隆弘
 戦国史関係論文目録(平成24年1月
 ～6月)
 例会記録
 例会報告要旨
 第391例会報告 東海大学中央図
 書館所蔵文書見学 大石 泰史
 第392例会報告 横須賀市教育委
 員会所蔵文書見学 事務局
 第393例会報告 向井将監忠勝の
 新出花押と初見文書の紹介 鈴木かほる
 第394例会報告 シンポジウム
 「四国をめぐる戦国期の諸相」
 事務局
 第395例会報告 輦動座後の將軍
 足利義昭をめぐる一考察 木下 昌規
 第396例会報告 徳川家康所用の
 服飾類について 福島 雅子

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
 光田憲雄 TEL03-3307-2146
 www.k5.dion.ne.jp/~daidogei/
 ◇248 2013.2 A4 2p 100円
 京の珍商売
 維新前京都正月の様(『風俗画報』
 より)
 ◇249 2013.3 A4 4p 100円
 昭和の大道芸

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686東京都国立市中1-9-52
 TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊
 www.tamashin.or.jp

◇149 2013.2 A5 130p

《特集 多摩の公園》

井の頭恩賜公園一成長、進化を統
 ける郊外公園 五十嵐政郎
 都立小金井公園の今と昔 細岡 晃
 多摩動物公園、その歴史が育んだ
 魅力 土居 利光
 東京都神代植物公園
 一植物たちの饗宴絵巻 高橋 康夫
 殿ヶ谷戸庭園一市民が守った多摩
 の文化財庭園 住吉 泰男
 多磨霊園と八王子霊園 樋渡 達也
 洋風建築への誘い(38)
 登録文化財・梅田邸とり壊し 伊藤 龍也
 建物随想記(33) 登録文化財・旧
 梅田診療所の話 酒井 哲
 古文書は語る(36) 武蔵野台地の
 初期村落関係(上)一吉野家文書
 「仁君開村記」 馬場 憲一
 多摩の食文化誌(10) 粒と粉にし
 て食べるまでの穀物の旅 増田 昭子
 多摩のみほとけ(12) 八王子市越
 野観音堂 聖観音菩薩坐像 齋藤 経生
 本の紹介
 あきる野市教育委員会編『あき
 る野市の石造物一市内石造物
 調査報告書一』 伊藤 宏之
 社会福祉法人滝乃川学園編『滝
 乃川学園二十年史』 安齋 順子
 飯能市郷土館編『飯能戦争関係
 史料集』 牛米 努
 まちの情報ハブ・図書館(12)
 武蔵村山市図書館 国分 一也
 情報ページ 多摩の博物館だより

◆調布の文化財 調布市郷土博物館

〒182-0026東京都調布市小島町3-26-2
 TEL042-481-7656 1986年創刊

◇49 2013.3 A4 8p
市指定有形文化財「深沙大王堂内
宮殿」の修復事業 赤城 高志
文化財講演会発表要旨 竹井英文
氏「戦国前期の東国と史跡深大
寺城跡」平成24年10月14日(日)
文化財の保護・普及活動 指定文
化財説明板の新設と付替え 東
京都指定天然記念物 佐須の禪
寺丸古木／調布市指定有形文化
財(建造物) 虎伯神社本殿 附
棟札三枚／調布市指定有形文化
財(彫刻) 木造阿弥陀如来坐像
／調布市指定有形民俗文化財
(民俗) 飛田給石造瑠璃光薬師
如来立像／調布市指定有形民俗
文化財(民俗) 百万遍供養塔 長瀬 出
報告 第7回東京都文化財保存整
備区市町村協議会総会／第55回
調布市郷土芸能祭ばやし保存大
会／東京文化財ウィーク2012／
第58回文化財防火デー／第25回
多摩郷土誌フェア／平成24年度
調布市文化財保護審議会／前市
文化財保護審議会会長・富沢昭
二氏のご逝去 立川 明子

◆伝 え 日本口承文芸学会
〒182-8525東京都調布市緑ヶ丘1-25
白百合女子大学 問宮史子研究室
TEL03-3326-5144 年4000円 1987年創刊
ko-sho.org

◇52 2013.2 B5 14p
ニコライ・ネフスキーの「未完成」
萩原 眞子
日本口承文芸学会
第63回研究例会
報告1 記述を輝かせるスタイル

中村とも子
佐藤 優
報告2 「民話」の時代
特集 グリム童話刊行200年
商売の餌食にされているグリム
童話 小澤 俊夫
グリム童話刊行200年と国際シ
ンポジウム報告 竹原 威滋
フンパーディンク作曲『ヘンデ
ルとグレーテル』 加藤 耕義
グリム200年 久保 華誉
「おはなし会」で語られるグリム
の昔話 杉浦 邦子
各地からの報告
昔話・伝説・言い伝えなどによ
る地域活性化事業 常光 徹
市川民話の会『改訂新版 市川
のむかし話』の刊行 根岸 英之
事務局便り

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER
〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
多田統一方／〒352-0011埼玉県新座市野火
止4-8-43 柚須紘一方 FAX03-3964-8548
tias3.web.fc2.com

◇99 2013.3 A4 4p
行事予定／新入会員紹介
関連団体情報 産業考古学会 電
気と機械分科会／産業考古学会
報告 上映会「夢と憂鬱」 柚須 紘一
報告 見学会 駒沢給水塔 多田 統一
報告 研究会 岡山県の産業遺産
を訪ねて 平井 東幸
2012年度 第9回理事会の議事概要
書籍紹介 『政宗の夢 常長の現
一慶長使節400年』 濱田直嗣著
河北新報出版センター発行 馬場 永子
茨城県牛久市の赤煉瓦建築物(3)
「シャトーカミヤ(牛久シャト

ー)本館」(3) 八木 司郎

◆東京大空襲・戦災資料センターニュース
〒136-0073東京都江東区北砂1-5-4
政治経済研究所 TEL03-5857-5631
2002年創刊 www.tokyo-sensai.net

◇22 2013.2 A4 8p
センターの役割さらに重く 早乙女勝元
東京大空襲を語り継ぐつどいー戦
災センター開館11周年／2013年
第1回特別展 空襲を伝えるド
イツの都市 ドレスデン・ベル
リン・ハンブルク／東京大空
襲・戦災資料センター開館要項
夏の親子企画 今年では学童疎開に
ついて学びました 埼玉大学の
学生有志と卒業生のみなさんの
協力をいただきました 二瓶 治代
感想ノートから
非体験世代の声・思い
資料は語る 学童疎開の資料が寄
贈されました 畠田 修
センターで体験を語って 葉山美佐子
語り継ぐ
授業で「東京空襲」のドキュメ
ンタリー映画作り 長倉 徳生
戦災資料センターに訪れて
その町の戦跡 東京大空襲の慰霊
碑・地藏尊を訪ねて 重順寺か
ら大横川沿いの慰霊碑 斉藤 克夫
「受忍論」打破を迫る、空襲訴訟の
現状と運動 足立 史郎
2013年第1回特別展(2月16日～4月
7日)に寄せて 「空襲を伝える
ドイツの都市―ドレスデン・ベ
ルリン・ハンブルク」 山本 唯人
証言映像プロジェクト 3年で17
人の方々の体験を記録しました

これからも記録をつづけます 山本 唯人
研究プロジェクトの動き
一戦争災害研究室から
感想ノートから

◆日本民俗音楽学会会報
〒190-8520東京都立川市柏町5-5-1
国立音楽大学 山本幸正研究室気付
www.s-jfm.org

◇38 2013.3 B5 20p
巻頭言
民俗文化の変容と研究展開 藤井 知昭
《特集 第26回東京大会 大会テーマ
「都市における民俗芸能の新たな展開」》
第26回東京大会を終えて 東京花
祭りと錦糸町河内音頭の実演紹
介の経過など 星野 紘
大会カメラ・ルポ 尾原 昭夫
第26回東京シンポジウム報告 新
しい民俗的伝統的音楽文化をど
う考える、重要な問題提起―東
京花祭り・すみだ河内音頭、と
もに悩みは資金集め 入江 宣子
第26回東京大会研究発表余話(1)
高校生による獅子踊りの伝承 桂 博章
第26回東京大会研究発表余話(2)
大会で発表すること 小野寺節子
第26回東京大会研究発表余話(3)
「会場が決まらない」 河瀬 彰宏
平成24年度日本民俗音楽学会総会
報告(議長団 梁島章子・城所
恵子) 小野寺節子
第8回民俗音楽研究会報告
浮き彫りになった〈民謡の力〉 伊野 義博
ふるさとの祭り復活へ！東日本大
震災被災地に響く力強い太鼓
写真ルポ1 岩手県陸前高田市
気仙町「けんか七夕」／写真ル

ポ2 岩手県大船渡市盛町「あ
んどん七タ」 尾原 昭夫
書評 星野紘著『過疎地の伝統芸
能の再生を願って 現代民俗芸
能論』 小野寺節子
受贈刊行物紹介／日本民俗音楽学
会 第2回例会案内
会員の動向 山本 幸正

◆練馬郷土史研究会会報

〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31
吉越正博方 TEL03-3996-4454
1956年創刊
◇344 2013.3 A4 4p
東京市養育院と彼のひとびと(後
篇4)一児玉花外・島崎こま子・
長谷川利行・物集高量 日向康三郎
1月例会・25年度総会に出席して 沖 武人
豊島氏関係史料を読む(16)
宮城氏の知行と軍役(3) 伊藤 一美
昭和史雑感 昭和天皇と將軍達
(17) 真崎甚三郎(14) 鎌田 茂男

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4
飯塚芳男方 TEL03-3992-0264
年2500円 1987年創刊
◇102 2013.2 B5 4p
第102回例会 日本における日本
海名の定着過程 谷治 正孝
正井泰夫先生を悼む 谷治 正孝
所沢で地名類型を考える 地の神
と地名「宮ヶ谷戸」論考 後藤 光
第14回地名談話会
地名の峠越え 後藤 光
橋戸を含む白子郷の歴史から 下島 邦夫
第17回地名観察会
中新川流域の変貌 (飯塚)

◆年報 月曜ゼミナール

〒112-0003東京都文京区春日2-14-4
佐野和子方 TEL03-3812-2007
◇5 2013.3 A5 380p
南北朝期末初期茶の湯の成立 石田 雅彦
千宗旦の茶室 中村 静子
近世八重山土族の異国語習得 新城 敏男
定住した聖たち 菅根 幸裕
陰陽道の説話の起源 小池 淳一
伊勢志摩大念仏の構成と傘ブク 坂本 要
投機と投棄の動物誌 戸邊 優美
大分の門人墓と寺子屋 佐志原圭子
山繭飼育考 佐野 和子
建物のない博物館の試み 島立 理子
出羽三山信仰の地域的展開 西海 賢二
武蔵野台地の古道・「牛街道」の
伝説の由来について 三浦久美子
ある祝賀行事にみる造り物と仮装
行列の一側面 松岡 薫
祭りはなぜ「自粛」されたか、ま
たは「自粛」されたことの意味
について 小野 一之
乾し海苔生産の加工技術および機
械設備の変遷調査覚書 北村 敏
日本語会話指導における否定疑問
文と「じゃない(か)」の扱い 小池恵己子
月曜ゼミナール研究活動
第3・第4号以降の研究活動

◆八王子市史研究

八王子市総合政策部市史編さん室
〒193-0943東京都八王子市寺田町1455-3
TEL042-666-1511
◇3 2013.3 A5 163p
口 絵
武蔵国船木田荘由比郷と天野氏
一二つの裁許状 小林 一岳
八王子千人頭・同心の身分につい

て一近世前・中期を中心に 山本 英貴
男子普選導入期の八王子市におけ
る清水三郎の動向とその意味―
もう一つの「八王子デモクラシ
ー」をめぐる 中村 元
原始古代へ眼差しの新たな焦点を
求めて 関 和彦
龍見寺をとりまく経塚群 深澤 靖幸
近世庶民の酒と経済 神立 孝一
八王子市で発見された新植物ハチ
オウジアザミについて 内野 秀重
八王子市とその周辺のヤブムグラ
について 小俣 軍平
調査報告 むらの商い―上恩方町
の呉服店と水車商い 宮本八恵子
一般投稿 車人形と新車人形―八
王子車人形・五代目西川古柳氏
に聞く 細田 明宏
新刊紹介
『新八王子市史』資料編1
原始・古代 服部 敬史
『新八王子市史』資料編5
近現代1 宮崎 翔一
八王子市史叢書1 村明細帳集成
大木 悠佑
新八王子市史民俗調査報告書第
1集 八王子市西部地域 恩
方の民俗 小川 直之
市史編さん覚書 八王子市史編さ
んの基本的な考え方／八王子市
史編集方針／市史編さん室日誌

◆府中市郷土の森博物館紀要

〒183-0026東京都府中市南町6-32
TEL042-368-7921 1988年創刊
www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
◇26 2013.3 A4 40+53p
万葉集防人歌「赤駒」の歌をめぐ

って 今野耕作／小野一之
代官川崎平右衛門・市之進父子の
幕領鉾山支配一主として明和・
安永期の新貨幣鑄造政策との関
連から 野田 政和
大蔵合戦再考
―12世紀武蔵国の北と南 木村 茂光
豊臣政権と武蔵府中
一府中御殿の再検討 竹井 英文
『私案抄』にみる卒都婆の造立 深澤 靖幸

◆PRISM

立教大学共生社会センターニューズレター
〒171-8501東京都豊島区西池袋3-34-1
TEL03-3985-4457
www.rikkyo.ac.jp/research/laboratry/RCCCS/
◇4 2013.3 A4 4p
全学共通カリキュラム「ネット時
代における『ミニコミ』の可能
性」開講 高木 恒一
公開講演会 2012年9月15日(土)
「問い続けた原子力―雑誌『技
術と人間』が残したもの」 小
山莊太郎さん／石川もとさん
つくる・うごく・つながる(3) 『み
んな新聞』 発行：みんな新聞
社 創刊：1982年 古橋研一さ
ん
つくる・うごく・つながる(4) 『新
光』 発行：新光会 創刊：
1949年 小西桂子さん
ミニコミ掲載・震災関連記事デー
タのその後

◆文献探索人

文献探索研究会(発売：金沢文圃閣)
〒135-0023東京都江東区平野3-2-1-604
TEL03-3820-3861

◇2012 2013.2 B5 164p 3000円
 飯澤丈夫年譜・著作リスト2 飯澤 文夫
 浦西和彦年譜・編著書・著述目録 浦西 和彦
 国松春紀年譜・著作目録 国松 春紀
 高澤光雄略年譜・著作目録 高澤 光雄
 中西裕略年譜・著作目録 中西 裕
 深川明子履歴・著作目録 深川 明子
 藤島隆年譜・著作目録 藤島 隆
 深井賞・個人選集・原稿募集要項
 浦西和彦書誌選集一矢沢永一・向井敏・開高健 浦西 和彦
 大森一彦書誌選集一寺田寅彦・田丸卓郎・小宮豊隆 大森 一彦
 高梨章書誌選集一湯浅半月・森潤三郎・井上和雄 高梨 章
 高梨章書誌選集一奥本大三郎 高梨 章
 高松敏男書誌選集
 一ニーチェ Nietzsche 高松 敏男
 鳥居フミ子書誌選集一浄瑠璃 鳥居フミ子
 平井紀子書誌選集一服飾と書誌 平井 紀子
 深川明子書誌選集一国語教育・子ども劇場運動・DV被害者支援 深川 明子
 藤島隆書誌選集
 一北海道の図書館と図書館人 藤島 隆
 渡辺美好書誌選集
 一吉田松陰・杉森久英 渡辺 美好
 〈文献探索研究会 会報〉
 文献探索研究会(奇数月)関係資料
 第332回「杉森久英」
 直木賞作家杉森久英さんとの
 お付き合い 渡辺 美好
 渡辺美好編『人物書誌大系22
 杉森久英』の批評 平井 紀子
 第334回「平岡敏夫」
 『平岡敏夫著作目録・参考文献
 目録・年譜』の編纂経緯 鈴木 一正

第336回「今日出海」
 父・今日出海の仕事(今まど子) 今 まど子
 今日出海「山中放浪」ほか
 1頁文献探索 深井 人詩
 第338回「薩摩治郎八」
 「薩摩治郎八関連資料の早稲田大学図書館への寄贈」 藤原 秀之
 「薩摩治郎八・パリ日本館」
 1頁文献探索 深井 人詩
 第340回「ガリヴァー旅行記」
 松菱多津男さんの話(深井人詩) 松菱多津男
 第342回「猫絵本」
 『猫を愛する人のための猫絵本ガイド』 澤田 幸子
 「猫絵本」1頁文献探索 深井 人詩
 「1頁文献探索」作成教室(偶数月)
 関係資料
 小林一郎・信州せいしゅん村 秋山 恭子
 内田百閒・内田百閒『まあだかい』 五十嵐明子
 上村松園・宮尾登美子『序の舞1』 小川 桂子
 V.ゴッホ・三好十郎『炎の人』 長谷川なほみ
 三浦一族・「三浦氏の乱」 三浦 邦雄
 安藤昌益・和田耕作『安藤昌益の思想』 森井 一郎
 大伴家持・「香島の歌」 深井 人詩
 既刊・文献探索研究会・会誌

◆武蔵野 武蔵野文化協会
 〒362-0011埼玉県上尾市平塚976-5
 加藤方 武蔵野頒布会 TEL048-775-6918
 年4000円 1918年創刊

◇352 (88-1) 2013.3 A5 88p
 《特集 武蔵野の災害(後編)》

歴史 近現代
 関東大震災と復興計画 樋渡 達也
 東日本大震災ボランティア活動記 山本 謙清
 資料紹介 昭和16年7月22日
 武蔵野に残した台風8号の足跡(付・折込カラー図) 岡部 清
 歴史 近世
 寛保2年の大水害と奥貫友山の記録 太田 富康
 安政大地震の鯨絵 杉山 正司
 弘化期川越藩の川島領大囲堤普請(下) 黒須 茂
 武蔵野の災害碑
 武蔵野の災害碑の一覧表 事務局
 連載 武蔵野の災害碑(1) 事務局
 東京都
 墨田区横網町公園内の震災・戦災碑 樋渡 達也
 墨田区回向院の浅間山噴火供養碑 中家健／三橋広延
 港区北青山の戦災碑 三橋 広延
 北区内の震災・戦災碑 芦田正次郎
 埼玉県
 埼玉県内の寛保の洪水碑 太田 富康
 志木市いろは橋の水害碑 井上 國夫
 青森県 八戸市対泉院の浅間山噴火の災害供養碑 石井 清文
 顧問芦田正次郎先生の計報
 平成24年度総会報告／例会報告

◆明治維新史研究 明治維新史学会
 〒154-8525東京都世田谷区駒沢1-23-1
 駒澤大学第一研究館 文学部歴史学科
 小泉雅弘研究室 2004年創刊
 www.ishinshi.jp

◇9 2013.3 B5 55p
 五箇条の誓文・宸翰と五榜の揭示

三宅 紹宣
 米国ペリー艦隊の琉球来航と琉球「開国」問題―「琉米約定」をめぐる琉球王府・薩摩藩間交渉を中心に 岡部 敏和
 書評 奈良勝司著『明治維新と世界認識体系 幕末の徳川政権信義と征夷のあいだ』 家近 良樹
 新刊紹介
 岩下哲典編『江戸時代 来日外国人名辞典』 岡部 敏和
 水谷憲二著『戊辰戦争と「朝敵」藩一敗者の維新史一』 宮間 純一
 安岡昭男著『副島種臣』、齋藤洋子著『副島種臣と明治国家』 大庭 裕介

彙報 2012年度第42回明治維新史学会大会記事／2012年度第42回明治維新史学会大会総会記事／2012年度明治維新史学会秋期大会記事／例会記録／会報発行記録／受贈図書

◆神奈川県立公文書館日より
 〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1
 TEL045-364-4456 1994年創刊
 www.pref.kanagawa.jp/cnt/f1040/

◇29 2013.3 A4 4p
 よみがえる記録遺産
 資料の保存と修復
 収蔵資料紹介 記録が伝える東京オリンピックの記憶
 Let's Try! こもんじょ 初級3
 関口家文書「済口証文」から
 利用案内 開館二十周年を迎えて
 講座のご案内／展示のご案内

◆**神奈川地域史研究** 神奈川地域史研究会
〒236-8501横浜市金沢区六浦東1-50-1
関東学院大学経済学部 田中史生研究室
TEL045-786-7833 年4000円 1984年創刊

◇**30** 2013.2 B5 121+5p 3000円
〈2012年度総会シンポジウム
「地域史と博物館」〉
総会シンポジウム趣旨
地域博物館と地域史 鈴木 靖民
博物館は地域をどう捉えるか
一川崎市を事例として 望月 一樹
「市民参加」・「市民協働」と博物
館—これからの博物館は何を目
指すのか 加藤 隆志
博物館と地域志研究—府中市郷土
の森博物館での活動を通じて 深澤 靖幸
シンポジウム「地域史と博物館」
コメント 井上 攻
シンポジウム「地域史と博物館」
に参加して—「地域博物館の未
来像」のその後 青木 俊也
〈シンポジウム「大災害から地域資料を救い
だす—関東の資料保全ネットワークのとり
くみ—」〉
シンポジウム趣旨
茨城史料ネットレスキュー活動
—学生・被災者の視点から 泉田 邦彦
神奈川県内の資料保全活動と神奈
川資料ネットの1年 宇野 淳子
自然災害の中で歴史・文化・自然
資料をどのように救済するか—
千葉歴史・自然資料救済ネット
ワーク(千葉資料救済ネット)発
足の経緯と意義と課題について
(レジュメ) 久留島 浩
シンポジウム参加記 三好 周平
論文 近世の磯子村と台場建設—
嘉永年間から文久年間における

土丹岩の切出し・運送の実態 小松 広紀
新刊紹介 戦時下の小田原地方を
記録する会編『語り伝えよう小
田原の戦争体験』 浅野 充
例会記録・参加記
2011年10月～2012年8月
2011年10月見学会参加記 茅ヶ崎
市美術館「川上音二郎・貞奴」
展 浅野 充
2012年3月見学会参加記 横浜市
歴史博物館企画展「火の神・生
命の神—古代のカマド信仰をさ
ぐる—」 宮瀧 交二

◆**鎌倉** 鎌倉文化研究会
〒248-0016神奈川県鎌倉市長谷3-11-2
長谷寺宝物館内 TEL0467-22-6300
1959年創刊

◇**114** 2013.2 A5 114p 1500円
「鎌倉」地名について 篠原 幸久
中世鎌倉の烈震と復興—鎌倉時代
末期から戦国時代の地震災害と
復興の姿 浪川 幹夫
建長興国禅寺碑の紹介と分析

大塚紀弘／古田土俊一
近世鎌倉禅僧伝(1)—大雲禅無 三浦 浩樹
余録 鎌倉乃記(9)—与謝野晶子
・寛、そして鎌倉(4) 梅花の
日(1) 坂本 俊雄
游酔庵文庫所蔵『教業記(保延七
年記)』翻刻(上) 伊藤 一美
『鹿山公私諸般留帳』(44) 三淵美恵子
神奈川の窓(31)
—「地方史研究」から 井上 隆男

◆**京浜歴科研年報** 京浜歴史科学研究会
〒233-0006横浜市港南区芹が谷5-59-12
大湖賢一方 TEL045-825-3736 1987年創刊

◇**25** 2013.2 B5 27p
巻頭言
今井信郎に関して若干の考察 塚越 俊志
論文
万延期の京都警衛一幕末期京都
警衛の体制化とその変遷(2) 野村 晋作
日丁修好通商航海条約に関する
一考察 塚越 俊志

◆**クロス** 常民文化研究会
〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20
西海賢二方 年1000円 1979年創刊

◇**132** 2013.2 B5 6p
家計簿と地域社会—食文化(3) 洪 志 承
家計簿と地域社会—社会生活(3) 張 艶
「多摩のまつりと民衆宗教」によ
せて 西海 賢二
受贈図書／研究会活動報告

◆**寒川町史研究** 寒川文書館
〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山
135-1 TEL0467-75-3691 1988年創刊

◇**25** 2013.3 A5 102p
《特集 明治時代の寒川神社》
町史講座 明治時代の寒川神社 圭室 文雄
宮大工矢内匠家資料に見る寒川神
社 細井 守
資料紹介
明治期寒川神社の新聞記事 圭室 文雄
講演会記録
寒川町岡田遺跡とその時代 戸田 哲也
事業記録
映像資料の公開について 高木 秀彰
寒川町史年表稿／寒川文書館業務
日誌

◆**寒川文書館だより**
〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山

135-1 TEL0467-75-3691 2007年創刊
www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp

◇**13** 2013.3 A4 8p
資料紹介 神川橋の開通式 椿田有希子
入沢章家文書が寄託されました
第13回企画展「江戸時代の一之宮
村」／古文書講座で入沢家文書
を活用／絵はがきを販売
町史編集委員を再委嘱／新刊のご
案内 調査報告書18・町史研究
第25号
文書館 最近のできごと／今後の
事業予定

◆**市史研究 横須賀** 横須賀市総務部総務課
〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11
TEL046-822-8150 2002年創刊

◇**12** 2013.3 A5 140p 500円
研究ノート
長野正義と高度経済成長期の横
須賀市政 大西比呂志
横須賀で誕生した日本最初の
「冠婚葬祭互助会」 板橋 春夫
「三浦七阿弥陀」について 上杉 孝良
市民が語る横須賀ストーリー F
Mクラブに勤めた日々は、別世
界でした。—安田敏子さんに聞
く
調査報告 大津古墳群の調査(3)
(3号墳の出土遺物) 附編 3号
墳墳頂部板碑の調査
稲村繁／佐藤仁彦
横須賀市史編さん日誌(抄)

◆**市史通信** 横浜市史編集室
〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中
央図書館地下1階 TEL045-251-3260
2008年創刊

www.city.yokohama.lg.jp/somu/housei/sisi/
◇16 2013.3 A4 12p

1946年の大口地区

―「天皇巡幸」説明資料から 百瀬 敏夫
女子野球と横浜 羽田 博昭

横浜現代史人物伝(2)

写真家・前川謙三 吉田 律人
アンケート集計結果より

開架資料紹介

横浜の空襲と戦災パネル一覧 木許 文子
市史資料室たより 『横浜市史資料室 紀要』第3号の発行／報告書『ヨコハマの台所―高度経済成長期の横浜市中心卸売市場―』の発行

◆湘南考古学同好会々報

〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-19-104 寺田兼方 1980年復刊

◇130 2013.2 B5 28p

子供の行事から思うこと 神藤 泰敬
南葛野遺跡再考―縄文時代早期末葉の不思議な遺跡をめぐって

桜井 準也

さば神社を考える(19)

防府佐波神社訪問記 西村堅一郎
心の考古学まで(3) 古要 祐慶

哀悼 服部実喜氏／会員

富士塚城址採集のかわらけ

伊藤郭／永山鶴一

林巴奈夫少年の考古学 岡本 孝之
夏の勉強会に参加して 天野 弘一

山梨のバスツアー見学記 梶山 昇
縄文遺跡探訪会に参加して 梶山 昇

グループ活動の記録(2)

「最初の踏査」について 菅野 博仁
湘南考古学同好会の機関誌

グループ活動の記録(3) 「渋谷城

跡」について(第4回活動) 米 諄
富士山が噴火した時 古要 祐慶

◆戦争と民衆

戦時下の小田原地方を記録する会
〒250-0011神奈川県小田原市栄町3-13-21
井上弘方 1980年創刊

◇70 2013.3 A5 16p

聞き取り 話しておきたい戦争体験

話し手：奥津仙吉・奥津サト子

解説 敗戦直後の「厚木の反乱」 井上 弘
交流報告

第13回米軍資料の調査・活用に

関する研究会と全国連絡会議

第42回愛知大会参加記 矢野 慎一

戦災・空襲の記録づくり第28回

東海交流会参加記 矢野 慎一

資料館紹介 明治大学平和教育登

戸研究所資料館を訪ねて 香川 芳文

書籍出版のご案内 本会8冊目の

書籍 昨年発刊『語り伝えよう

小田原の戦争体験』

本書を読んで

若い世代に伝えたい貴重な戦争

体験集 渡辺 徳昭

インタビューのバラエティーと

リアリティー 石橋 星志

小田原の戦争体験の語り継ぎに

学ぶ 金子 力

続・地域で戦争を伝えるものを調

べて(2) 新玉小空襲の爆弾投

下跡 井上 弘

◆日本地名研究所通信

〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10

川崎市生活文化会館4階 TEL044-812-1191

1993年創刊 www.8.ocn.ne.jp/~timeiken/

◇76 2013.2 B5 6p

アズとママ 谷川 健一

各地研究会の動き

城下町「佐倉」 佐倉地名研究会

野村 忠男

「五分間発表」の場

群馬地名研究会 澤口 宏

暴れ川 境川と「鶴間」

さがみはら地名の会 福田 弘夫

第32回全国地名研究者大会開催

地名は警告する

各地研究会の動き

歴史地名(字)と液状化マップ

港北地名と文化の会 渡辺 忠治

熊本の地形地名

たらぎ地名研究会 住吉献太郎

地名探訪

波久礼(ハグレ)などについて 桐井 聡男

太宰幸子著『地名は知っていた』

上・下発刊

愛知地名文化研究会便り 中根 洋治

近刊案内 谷川健一編 地名は警

告する―各地からの報告

◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021神奈川県小田原市早川60

青木良一方 TEL0465-22-8852

年2500円 2003年創刊

hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/

◇39 2013.3 A5 108p 500円

小田原の近代づくり(下)

内なる力と外なる力 金原 左門

「徳尼公」を尋ねて 今川 徳子

酒匂だより 「繁蓂」 町田紀美子

横山周平の贈り物(桜町を歩く) 尾上 武

白秋文学の底流 岸 達志

白秋と父・石川福造 石川 和彦

ボクの映画館(19)

「無法松の一生」と稲垣浩 平倉 正
年老いた「新婚者」

―「夕顔忌」講演録 塚本 容子

歌舞伎を彩った人々(11) 武智歌

舞伎で飛躍した上方役者 田中 豊

よかった探し 本多 博

空耳をつぶす とく山たかし

亀右衛門咄(15) 二つの本誓寺 青木 良一

始まりの人(最澄)下 茂木 光春

おけいのデンマーク遊学日記(3) 山浦 敬子

映画案内／新九郎ギャラリー

◆民具マンスリー

神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1

TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊

◇540 (45-12) 2013.3 A5 24p 350円

越中五箇山の風―飛越国境のムラ

富山県南砺市(旧東砺波郡上平

村)椿の場合を中心に 森 俊

明治の農具絵図(3)―明治13年の

農具絵図(1)「農具の全国調

査」と「農具絵図」 桂 眞幸

◆悠久

鶴岡八幡宮悠久事務局(発売：おうふう)

〒248-0005神奈川県鎌倉市雪の下2-1-31

TEL0467-22-0315 1980年第2次創刊

◇130 2013.2 A5 142p 680円

《特集 天変地異・神仏と災害Ⅱ》

口絵 平成の災害

口絵 東北地方太平洋沖地震に関

する天皇陛下のおことば

エッセイ 礼儀知らずの高齢者 佐野 眞一

特別寄稿 神社と災害―阪神・淡

路大震災の体験をふまえて 加藤 隆久

論文

神社立地と災害について―東日

本大震災を経験して	佐藤 一伯
伊勢神宮外宮の被害と1361年	
(康安元年)の地震	奥野 真行
奉幣と災害	
一災害と古代国家の祈り	三橋 正
小論文	
平成の災害と皇室	松本 滋
岩手沿岸地方の祭と民俗芸能の	
現状	阿部 武司
被災地における祭礼・神事芸能	
と復興(宮城県)	笠原 信男
被災地における祭礼・神事芸能	
と復興一福島県の状況	佐治 靖
口絵解説 平成の災害	松本 滋
寄稿 災害と神社	工藤 祐允
八幡宮紹介 上山八幡宮(宮城県	
本吉郡南三陸町)	
新刊紹介 『津浪と村』山口弥一	
郎著、石井正己・川島秀一編／	
『光に向かって 3・11で感じた	
神道のこころ』川村一代著	
中 部	
◆鑑 賞 新潟文化財鑑賞会	
〒950-0852新潟市東区石山3-12-19	
斎藤寿一郎方 TEL025-286-1740	
◇34 2013.2 A5 108p	
[北]一熊の民俗	赤羽 正春
越後の城郭	
一慶長3年から明治まで	横山 勝栄
二枚の古地図からみた鎧潟湖口左	
岸の村々一開発の古い押付・天	
竺堂村と矢島村古新田	本間 則久
羅漢様に想いを寄せて	田中 紀義
農具の証言	渋谷 綾子
第5回越佐地方史談話会の報告	斎藤寿一郎
平成24年文化財鑑賞研修旅行	
奥州平泉の文化財めぐり	小山 正春

村上市の歴史・文化を訪ねて	藤井 保男
事務局だより	
シンボルマーク解説	小塚 信
◆郷土史 燕	
燕市教育委員会・燕郷土史研究会連合会	
〒959-1295新潟県燕市白山町2-7-27	
TEL0256-63-4131 2008年創刊	
◇6 2013.3 A5 149p	
『郷土史燕 第6号』発刊に寄せて	
	石黒 克裕
吉田地区の狛犬を巡ねて(1)	大江 登
私の良寛一良寛さまの暮し	下村 光吉
良寛の師・大森子陽について	松澤佐五重
三角田遺跡の掘建柱建物に使われ	
たキハダについて	本間 敏則
米納津地区の神社について	幸田 昭
健康優良特選校審査の一日	
一燕市小池小の受賞回顧録	高橋 久二
気になる地名「佐渡」一さわたり一	
とは	北澤 昭松
戊辰戦争と長岡藩蒲原両組一慶応	
四年・曾根うちわしの見直し	亀井 功
史料紹介	
「竹山日記」に書かれた戊辰戦争	亀井 功
	渋谷 啓阿
国上の雑録(2)	
熊森村 弘化二年「村用日記」	塚本 智弘
を見る(2)	
吉田郷土史研究会研修旅行	
中之島・見附周辺を訪ねる	竹野 一良
◆郷土史編さん誌みなみうおぬま	
南魚沼市教育委員会	
〒949-6680新潟県南魚沼市六日町456-1	
社会教育課郷土史編さん係	
TEL025-773-2197	

◇10 2013.3 A5 109p	
口絵写真 写真から見る物づくり	
もちつき(昭和32年12月 欠之	
上)、味噌玉づくり(昭和33年4	
月 清水)	
巻頭言	
古文書の価値について思う	今成 卓而
特集 南魚沼市域の郷土史	
南魚沼市域に見る郷土史研究の	
あゆみ一五十沢・城内・大巻	
地区	本山 幸一
『新編城内郷土誌』発刊の編集	
を振り返って	上村 宏
ふるさと通信	
魚沼丘陵のガス・石油と鉱泉	本山 幸一
女衆が懸命に織り継いだ麻織物	田村 賢一
	本山 幸一
明治初年の通貨について	松田 紀孝
瀧澤素朗日記	
研 究	
大平東作の維新时期及び民権期の	
活動	滝沢 繁
普選前後の浦佐村社会一『浦佐	
村々会議事録』を通して	芳井 幸子
南魚沼市郷土史編さん日誌(抄)	
◆郷土新潟 新潟郷土史研究会	
〒950-2021新潟市西区小針藤山15-15	
伊藤善允方 TEL025-266-3076	
年4000円 1963年創刊	
◇53 2013.3 A5 112p	
「殉節之碑」建立に携わった人びと	高橋邦比古
在新潟イギリス領事館をたどる一	
その所在地と日本人書記の動向	
を中心として	青柳 正俊
「近世・新潟町の形成」に先立つ	
三ヶ津時代の新潟津をめぐり	小川 敏偉

文人としての新潟初代奉行「川村	
修就」の側面	齋藤 倫示
淳足柵の位置・私論	広瀬 秀
「新潟大泉坊」「新方カウヤ」につ	
いて一高野山清浄心院「越後過	
去名簿」を見ながら	山上 卓夫
資料紹介 明治14年「高知新聞」	
に載せられた新潟のすがたと	
人々(2)	石橋 正夫
会の活動	
平成24年度春の史跡探訪旅行	
「新潟上古町めぐり」	
第26回「会津と越後を語る会」	
新潟大会	
平成24年の歩み／動向・お知らせ／	
受贈図書紹介／役員名簿	
／新潟郷土史研究会会則	
表紙 天保二年「北国一覽写 出	
羽越後」(複製本) 長谷川雪旦	
筆(新潟県立図書館所蔵)	
◆高志路 新潟県民俗学会	
〒950-2022新潟市西区小針6-29-1	
鶴巻武則方 TEL025-231-6100 1935年創刊	
www.bsnnnet.co.jp/jiku/minzoku/	
◇387 2013.3 A5 60p	
野兎狩りの古風	
一タカ飛来の受け止め方など	天野 武
小報告集V	佐藤 和彦
能生白山神社の春祭り	鶴巻 武則
垣間見た内モンゴルと狩猟民族の	
民俗、暮らし	広井 忠男
質問 地震とオカネ様	金田 文男
道祖神信仰の歴史一考察(2)	
一古代から中世にみる道祖神	石田 哲彌
会員の出版物／事務局だより／	
「おっかなの晩景のフィールド」	
訂正／談話会・役員会案内／年	

会案内	
◆高岡市万葉歴史館紀要	
〒933-0116富山県高岡市伏木一宮1-11-11	
高岡市民文化振興事業団	
TEL0766-44-5511 1991年創刊	
www.city.takaoka.toyama.jp/manreki/	
◇23 2013.3 A5 88p	
古代越中国の人面墨書土器について	堀沢 祐一
『万葉集』にとって「歴史」とは何か	西澤 一光
大和の「たくましげ二上山」存疑	
一巻七・一〇九八番歌訓詁私案	新谷 秀夫
万葉集巻七訓詁存疑	
一面就・色染染・耳言為	垣見 修司
高岡市立中央図書館寄託五十嵐家文書	
五十嵐和絃「万葉集草木図譜(下)」について(解題・影印)	田中夏陽子
研究ノート	
大伴家持越中守時代の大伴氏	関 隆司
彙報(平成24年度行事) 学習講座	
／2012夏季高岡万葉セミナー／	
2012秋季高岡万葉セミナー／他	
◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会	
〒918-8113福井市下馬町51-11	
福井県立図書館内 TEL0776-33-8860	
年3500円 1956年創刊	
◇295 (57-2) 2013.2 B5 73+9p	
『お湯殿の上の日記』に見る若狭	
武田氏の進上	佐藤 圭
福井市指定文化財 毛利家長屋門	
について	国京 克巳
越前大野藩関係者の箱館戦争戦没者の墓碑を訪ねて(1)	南川 傳憲

『古記大全』朝倉義景感状についての一考察	真野 幹也
松旭斎天一の新出写真資料について	
て	長野 栄俊
付 索引(通巻276号～295号) 巻号目次・著者別・論文記事名別	
◆MARUBI	
富士吉田市歴史民俗博物館だより	
〒403-0005山梨県富士吉田市上吉田2288-1	
TEL0555-24-2411 www.fy-museum.jp	
◇40 2013.3 A4 8p	
富士山あれこれ 山頂の鐘(続) 奥脇 和男	
博物館Report	
富士山御師外川家に泊まった人々(後-3)―『富士の道の記』の紹介	菊池 邦彦
富士山に祀られた女神	
銅像女神立像	近藤暁子／高橋晶子
◆飯田市美術博物館研究紀要	
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655	
TEL0265-22-8118 1990年創刊	
www.iida-museum.org	
◇23 2013.3 A4 106p	
不動明王四童子像の一事例―飯田市・光明寺所蔵本の紹介	織田 顕行
甲斐守護武田信玄晴信の中伊那・下伊那支配	鈴木 博
『宗徧流華道書』の翻刻(2)―飯田市美術博物館所収の市岡家蔵書より	西脇 藍
「力神」彫刻の山車への受容とその周辺―とくに新出の立川富昌作の力神塑像をめぐる	水野 耕嗣
◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所	
〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145	

TEL0265-53-4670 www.city.iida.lg.jp	
◇62 2013.2 A4 4p	
飯田市歴史研究所編集・飯田市教育委員会発行 飯田・上飯田の歴史 橋北・橋南・羽場・丸山・東野地区の地域史を史料に基づいてわかりやすく叙述します	
飯田町の商品ラベル	
下巻 近代～現代	
公開歴史講座「第1回新しい世界史を求めて」 新しい世界史の見方を興味深く／座光寺地区歴史に学び地域をたずねる会との合同調査	
リレーエッセイ	
伊那郡衙正倉院の新発見	山中 敏史
地域史料を使って学習会―阿智村古文書学習会への支援	伊坪 達郎
地域史講座／公開歴史講座／定例研究会／上郷有線放送保存事業報告会 次世代に伝えたい記録有線放送が残した昭和／研究助成報告会を開催します／歴研ゼミナール／歴史研究所の催事スケジュール／歴研日誌	
◆伊 那 伊那史学会	
〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048	
TEL0265-22-6017 年5500円	
◇1018 (61-3) 2013.3 A5 50p 500円	
口絵 長野原の前澤家の陶墓	吉澤 健
〈第2回 文化財の保護保全を考える会(報告)〉	
講演「長野県の文化財保護の現状と課題」―埋蔵文化財の場合	平林 彰
各市町村の文化財保護の取り組みについて	
松川町	酒井 幸則

大鹿村	北村 尚幸
天龍村	村沢 仁
泰阜村	木下 忠彦
根羽村	石原 幸伸
文化財保全「川路の碑林」新設報告記	今村 真直
全体会「文化財保護のための地域連携の在り方について」	
閉会行事 まとめ	岡田 正彦
「これは私たちがやることだ。まかせてくれ」	
竜丘児童自由画保存顕彰委員長	
第452回郷土巡礼とフィールドワーク「龍江の歴史と地名を訪ねて」を開催	原 董
◆伊那路 上伊那郷土研究会	
〒396-0021長野県伊那市小沢7799-2	
TEL0265-78-6719 年5000円	
◇674 (57-3) 2013.3 A5 40p 500円	
《赤羽篤先生追悼号》	
赤羽篤先生の面影と歩まれた道	
弔 辞	
『伊那路』の恩人 赤羽篤先生を偲ぶ	伊藤 一夫
地元にも貢献された赤羽先生	飯澤 浩
形は減びても赤羽先生は死なない	小林 晃一
物事に真摯に立ち向かわれた赤羽先生	高坂 保
「教師たる者 子どもと学問のためには生きよ」	矢澤 清二
庭木で再び深まった恩師との縁	加島八之進
追悼文	
赤羽篤先生 追慕	春日 博人
上伊那郷土研究交流連絡会の設立	池上 正直

育ててくださったことに感謝 若林 博
 赤羽篤先生を偲ぶ 清水 満
 赤羽篤先生と駒ヶ岳 福澤 靖子
 恩師 赤羽篤先生と私 松井 君子
 赤羽篤校長先生を偲んで 野澤 和行
 赤羽篤先生『伊那路』寄稿および
 諸刊行物執筆記録抄
 地方史研究とともに歩んだ父 赤羽 貞幸
 校長講話から
 長野県宝になる仮面付土偶
 「たつの拾い話」シリーズより
 山犬の話
 思い出の人・思い出の事(11)
 村沢武夫氏(歌人・郷土史家) 桃澤 匡行
 高山の植物(7) よく似ているが 田中 茂
 古文書の窓(110)
 富士塚再興賀詞 松澤英太郎
 師匠の背中(2)より(53)
 下駄スケート 若林 徹男

◆市誌研究ながの 長野市公文書館
 〒380-0801長野市箱清水1-3-8
 長野市城山分室内 総務部庶務課
 TEL026-232-8050 1994年創刊
 ◇20 2013.3 A4 132p
 はじめに 鷺澤 正一
 長野市公文書館 開館五周年記念
 講演 カラスをめぐる風雅一芭
 蕉・蕪村・一茶の世界 玉城 司
 善光寺地震と上田藩川中島領
 一更級郡戸部村を中心として 鬼頭 方三
 佐久間象山の漢詩(5) 佐久間方三
 三井物産と長野県製糸業—1907年
 における生糸直輸出について 横山 憲長
 旧制長野中学校本館校舎に関する
 基礎的建築史研究(2) —設計図
 と設計者、RC造と木造 宮澤 政太
 歌道・茶道に生きた教育者白鳥義

千代 高木 寛
 資料目録と解説—平成24年度移管
 『長野市役所文書』 宮原 秀世
 長野市西部地区の池沼と湧泉の水
 質とプランクトン(2) 落合 照雄
 『市誌研究ながの』投稿規程
 長野市公文書館のあゆみ
 表紙解説「松代天王祭絵巻」
 長野市 真田宝物館 山中さゆり
 口絵解説
 歌が丘今昔 高木 寛
 長野市内の絵馬 細井雄次郎
 長野市西部地区の池沼と湧泉の
 水質とプランクトン(2) 落合 照雄

◆信 濃 信濃史学会
 〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
 TEL0263-36-1785 年8400円
 www.shinano-shigakukai.jp
 ◇758 (65-3) 2013.3 A5 86p 900円
 《満州小特集》
 満州移民の戦後史—長野県飯田下
 伊那地域を事例に 島崎 友美
 語り継ぐ「満蒙開拓」の史実—「満
 蒙開拓平和記念館」の建設実現
 まで 寺沢 秀文
 史料紹介 大林作三『終戦の記』
 —満州大日向開拓団の崩壊 青木 隆幸
 碓氷峠道の変遷(下)
 —尾根道からトラバース道へ 江川 良武
 史料紹介 木曾・旧宮越宿と原野
 村の中山道彩色絵から(上)—絵
 図にみるいくつかを 神村 透

◆長 野 長野郷土史研究会
 〒380-0905長野市七瀬南部14-7
 TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊
 www.janis.or.jp/users/kyodoshi/

◇287 2013.2 A5 48p 500円
 口絵 137年の歴史を終える後町
 小学校
 復活して四回目の戸隠柱松神事
 一とくに祭場に注目して 由谷 裕哉
 夏目漱石と信州(2) 漱石と木曾 中田 敬三
 ゲストハウスの可能性—善光寺門
 前に「1166バックパッカーズ」
 を開業して 飯室 織絵
 善光寺平の方言集(2) 北村俊治／小林一郎編
 紙芝居『越寿三郎物語』 佐藤 政世
 善光寺信徒会 東日本大震災慰霊
 法要と東北の旅に参加して 東澤加代子
 クイズに挑戦

◆千 曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会
 〒386-0024長野県上田市大手2-7-13
 上小教育会館内 TEL0268-24-2182
 年3000円 1974年創刊
 ◇152 2013.2 A5 66p
 多治比真人三宅麻呂と東山道・信
 濃国府の立地についての考察 金澤 道弘
 写真にみる矢ヶ崎家のおんなたち
 宮沢裕紀子
 戦後の高度経済成長と地方の工業
 化(3)—東信地方の場合 野澤 敬
 坂城町の昭和橋について 牧 忠男
 文化財講座 第52回
 上宮寺金剛力士像 丸山 正俊
 地区だより(小諸支部・東御地区・
 塩田地区・更埴地区・上山山地
 区)
 新入会員名簿／編集後記
 扉写真と解説
 国宝 安楽寺八角三重塔 中沢 徳士
 総会通知／第32回研修視察旅行案
 内

◆長野県民俗の会通信
 〒390-0851長野県松本市島内3427-45
 小原稔方 年5000円
 www.k2.dion.ne.jp/~folklore/
 ◇234 2013.3 B5 8p
 「民俗学者」竹之内春彦(後)
 一世間の見た民俗学研究者像 倉石 忠彦
 書評 福田アジオ・菅豊・塚原伸
 治著『「二〇世紀民俗学」を乗り
 越える』 岩田書院 2012年 福澤 昭司
 葉書でつぶやくコーナー
 文化的景観という制度 木下 守
 第185回例会のご案内

◆松本市史研究 松本市文書館紀要
 松本市総務部行政管理課松本市文書館
 〒390-1242長野県松本市和田1058-2
 TEL026-347-0040 1991年創刊
 ◇23 2013.3 B5 120p
 刊行にあたって 菅谷 昭
 市史研究
 松本平に伝わる弘化四年善光寺
 地震の記録 太田 秀保
 松本騒擾事件—移庁・分県運動
 の歴史 小松 芳郎
 旧陸軍松本飛行場から出撃した
 特攻隊—特攻隊員(飛行兵)の
 手紙と整備兵が残した伝言か
 ら 川村 修
 資料紹介
 近世の旅日記に見る京都—史
 跡・伝承と信仰：丸山角之丞
 「神社仏閣札拝記」 福嶋 紀子
 湧き水の町、松本
 一湧き水調査をして 林 宰男
 平成24年度松本市文書館の事業
 平成24年度松本市文書館日誌

◆岐阜市歴史博物館だより

〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1
岐阜公園内 TEL058-265-0010 1985年創刊

◇83 2013.3 A4 8p

重要文化財 鼠志野鶴鴿文鉢 16
世紀末 口径28.5cm、高さ11.6
cm 東京国立博物館蔵

企画展「タイムスリップ! 大む
かしのくらし」 2013.4.10(水)
～5.6(月・祝)

特別展「岐阜の茶の湯」

2013.5.17(金)～6.30(日)

加藤栄三・東一記念美術館「加藤
栄三・東一 岐阜を描く」
2013.4.23(火)～6.30(日)

加藤栄三・東一記念美術館「加藤
栄三・東一 絵画に描かれた鶴
飼」 2013.7.2(火)～9.16(月・祝)

平成25年度 子ども歴史講座のご
紹介

平成24年度受贈資料

館蔵資料紹介 大小鐺 牡丹図

大 縦75mm、横69mm 小 縦72
mm、横67mm 江戸時代中期頃

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会

民俗文化研究所
〒438-0086静岡県磐田市見付3532
TEL0538-32-3546 2007年創刊
www4.tokai.or.jp/child-c.jp/

◇70 2013.3 A4 4p

大安寺の毘沙門天大祭

静岡市葵区南沼上 吉川 祐子

◆静岡県近代史研究 静岡県近代史研究会

〒422-8529静岡市駿河区大谷836
静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室
年4000円 1979年創刊

◇37 2012.10 B5 117p 1500円

総会記念講演録 戦後日本の地域
社会・文化運動とその思想一敗
戦～1950年代を中心に 北河 賢三
弘前藩士が記録した静岡学問所の
教育 樋口 雄彦
静岡県の女子青年団体史
一処女会から女子青年団 肥田 正巳
満蒙開拓青少年義勇軍静岡(植松)
中隊の編成 加藤 善夫
特集 浜岡原発の検証

浜岡原発と反原発住民運動一原
子力の平和利用という幻想 枝村 三郎
資料と人物 畑藤十の人物と、
「履歴書・事績調書・事績調書
補足」そして写真の紹介 清水 実
2011年3月11日から2012年3月11
日 FUKUSHIMA と静岡 清水 実
彙報 第34回総会／会誌第36号の
発刊／例会の記録／会報主要記
事

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836
静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室
年4000円

◇414 2013.3 B5 4p 200円

3月例会レジュメⅠ 1990年代以
降の浜岡原子力発電所をめぐる
住民運動一5号機増設時と増設
決定後の動向を中心に 安藤 文音
3月例会レジュメⅡ 磐田市福田
地区の繊維産業における日米織
維交渉との関係性 松下 夏子

図書紹介 森山優氏著『日本はな
ぜ開戦に踏み切ったかー「両論
併記」と「非決定」 村瀬 隆彦
論文紹介 北村欣哉氏「消えた朝

鮮(通信使)伝承一朝鮮ヶ谷(日
本坂)・朝鮮巖・起木梅伝説ー」
〔『清見潟』第21号・2012年5月〕

村瀬 隆彦

事務局より／例会のお知らせ

◆静岡歴研会報 静岡県歴史研究会

〒422-8045静岡市駿河区西島363-55
篠原旭方 TEL054-286-8659

◇136 2013.3 B5 12p

12月2日(日) 第98回研究会

寺尾、大川、堀川各氏発表

寺尾弘之氏の「神奈川宿雑話題」
の概要／大川誠一氏の「よみが
えれ 日本国誕生史」の概要／
堀川幸美氏の「森村市左衛門の
ルーツ探査(江戸期の庶民の出
府・移動)」の概要

2月3日(日) 第99回研究会

鈴木、鵜藤、松葉屋各氏発表

鈴木康弘氏の「幕末における異国
船の江戸湾渡来と幕府の対応」
の概要／鵜藤満夫氏の「大正3
年におけるマンガと写真による
世情(静岡市内の災害地)」の概
要／松葉屋幸則氏の「富士郡に
おける平維盛の伝承」の概要

◆駿河 駿河郷土史研究会

〒417-0061静岡県富士市伝法66-2
富士市立博物館内 TEL0545-21-3380
1965年創刊

◇67 2013.3 B5 109p

表紙解説

富士馬車鉄道の開通パレード 加藤 昭夫
巻頭言 日本は瑞穂の国 米文化
を大切に 加藤 昭夫
「田子の古道」についての一考察 荒川 辰美

戦国時代「河東の乱と三国同盟」高田 國義
赤色立体地図が語る富士山村山登

山道 渡井 一信
道祖神入門編(2)

ふるさとの道祖神(2) 松野 紀一
満蒙開拓青少年義勇軍富士小隊に

関する資料(2) 加藤 善夫
管見「原田の歴史」 大友 覚

搜索稿本から吉原古宿を探る 渡辺 誠
旧東海道沼津宿散策雑話 松野 紀一

一枚の看板が物語る町工場の軌跡
一吉原町・佐野熊ナブキン工場

内田 昌宏

会議(総会・理事会・事務局会議・
各専門部等)の活動報告 総会
／理事会／事務局会議／機関誌
発行部／見学旅行部／研修部／
古文書研究部／宿場研究部／市
史研究部／民話研究部／文化財
研究部

◆愛知県史研究

愛知県総務部法務文書課県史編さん室
〒460-0002名古屋市中区丸の内3-4-13
愛知県庁大津橋分室 TEL052-972-9171
1996年創刊 www.pref.aichi.jp/kenshi/

◇17 2013.3 A4 147p

口絵 額田県管轄第八大区内第三
小区三河国設楽郡上津具村絵図

論文

「丹後国風土記残欠」について
の基礎的検討 福岡 猛志
昭和恐慌期～戦時体制期におけ
る農村社会事業一愛知県額田
郡下山村の事例を対象として
宇佐美正史

研究ノート

普門寺(豊橋市)所蔵年次未詳

(中世後期)三界万霊木牌につ
いて 服部 光真
天保期の羽田野敬雄—官社研究
を中心に 付、翻刻 羽田野
敬雄・伴信友間の新出書簡三
点(橋良文庫旧蔵) 鈴木 光保
近代愛知県の三曲について—担
い手の変化と口承から楽譜に
よる伝承へ 飯塚恵理人
宮本常一と愛知 印南 敏秀
史料紹介「関白殿物語」下 播磨 良紀
愛知県史を語る会抄録 地域・伝
統・都市—県史でとらえた愛
知の民俗
文化の“中京”—尾張・三河 岩井 宏實
エビス神信仰の多様性
—地域と民俗 伊藤 良吉
伊勢神宮と権現様を祀る人々
—伝統と民俗 伊東 久之
大店のくらし—都市と民俗 服部 誠
近刊市町村史誌紹介『新修名古屋
市史』資料編「現代」、『半田市
史 地区誌篇 乙川地区』、『碧
南市史料第六八集 碧南市収蔵
民俗資料目録』『碧南市史料別
巻六 清沢満之物語』『碧南市
史料別巻七 伊藤証信物語』
編さんの動向／各部会の活動状況
(H23.9～H24.8) 考古部会、
古代史部会、中世史部会・織豊
部会、近世史部会、近代史政治
行政部会、近代史産業経済部会、
近代史社会文化部会、現代史部
会、文化財部会

◆郷土研究誌かりや 刈谷市郷土文化研究会
〒448-0852愛知県刈谷市住吉町4-1
刈谷市中央図書館内 TEL0566-25-6000

1980年創刊
◇34 2013.3 A5 115p
文化講演会 刈谷ゆかりの馬淵晴
子・松尾葉子・山本陽子 栗屋 誠陽
中条遺跡 備忘録Ⅱ 伊藤 利和
史料紹介 野村伴右衛門源直温に
ついて(2) 稲垣恒夫／矢田富治／佐久間美佐子
刈谷藩初代藩主 水野勝成—刈谷
偉人伝その二「水野勝成物語」
を見る 長瀧 秀雄
天誅組をどう見るか—刈谷偉人伝
その一『幕末をかけぬけた刈谷
の志士たち』を見る 山田 孝
天誅組参加者を支えた三河・尾張
の知識人たち 山田 孝
史劇天誅組 松本奎堂—長尾盛之
助作、新劇文芸団・酒井淳之助
主演 鈴木 哲
刈谷に豊田なかりせば(後) 渡邊 健二
刈谷町熊出身の衆議院議員 三浦
逸平 竹中 兼利
依佐美送信所保存運動の歩み(続)
加藤 修
小垣江の細工人形 加藤 幸一
鈴木定雄年譜 1922～2011年—医
師・歌人・郷土史研究家 鈴木 哲
市井の人・原田光敏君を悼む 西村 清
市内研修会 小垣江の超円寺、龍
江寺、専称寺 加藤 幸一
県内研修会 清洲城と清須宿・美
濃路を歩く—問屋記念館・総見
院・清須公園 長瀧 秀雄
平成24年度の歩み・平成25年度予
定
表紙表 番付「史劇天誅組 松本
奎堂—新劇文芸団—党二の替狂
言」(1925年)

表紙裏 長尾盛之助『松本奎堂
史劇天誅組』場面・序幕 京清
水寺の境内
口絵 総会研究発表・市内研修会
・文化講演会・県内研修
◆郷土文化 名古屋郷土文化会
〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155
名古屋市鶴舞中央図書館 TEL052-741-9822
年3000円 1946年創刊
◇218 (67-2) 2013.2 A5 81p 1500円
ヤマトタケルは伊吹山戦役尾張へ
還ったか—日本書紀の記述に関
する一考察 竹田 繁良
源頼朝の伊豆配流と頼頼守康の
「夢合せ」 山田 哲史
織田信長の櫃島(木曾岬町)進出と
一向宗寺院の動向 横山 住雄
図絵に見る尾張の街道風景(11) 櫻井 芳昭
長久寺界隈と伊奈左門家 小林 元
在勝栗山神碑碑文撰者源弘につい
て 松井 雅文
「名古屋市守山区上志段味の歴史」
補遺(3) 大野 哲夫
和田勉『テレビ自叙伝』を糸す 入谷 哲夫
第45回研究会発表要旨 徳川家康
の江への手紙—蓬左文庫本「神
君御文」について 松浦 由起
◆新修名古屋市史だより
新修名古屋市史編さん事務局
〒461-0011名古屋市東区白壁1-3
名古屋市市政資料館 TEL052-953-0051
1992年創刊
◇31 2013.3 A4 14p
第28回「新修名古屋市史を語る集
い」から 歴史と最新研究から
学ぶ南海トラフの巨大地震 南

海トラフの巨大地震とその被害
予測 廣内 大助
第28回「新修名古屋市史を語る集
い」から 歴史と最新研究から
学ぶ南海トラフの巨大地震 東
日本大震災から考える津波対策
—やどかりプランと空襲警報 溝口 常俊
『新修名古屋市史』資料編(9巻)・
本文編(全10巻)発売中
公文書等の公開について 「公文
書」の公開、「行政資料」の公開、
「市史資料」の公開／表紙の説
明
資料編「考古2」刊行のお知らせ
資料編「考古2」刊行にあたっ
て 加藤 安信
資料編「考古2」目次
◆豊田市史研究
〒471-0079愛知県豊田市陣中町1-19-1
豊田市教育委員会文化財課市史編さん室
TEL0565-36-0570 2010年創刊
◇4 2013.3 A4 156p
口絵 喜楽亭
論文
鎌倉時代後期の三河・尾張と持
明院統 松島 周一
「松平氏由緒書」の成立と旗本
松平太郎左衛門家の形成 村岡 弥生
近世における矢作川水系の鮎漁
と漁業争論 篠宮 雄二
豊田市における「平成の大合併」
森川 洋
豊田市における近年の内水面漁
業・養殖業の変容—食用魚・
鑑賞魚養殖を中心に
高木 秀和
研究ノート 1880年代三河山間地

域の勤儉貯蓄政策 羽賀 祥二
 資料紹介 旧小原村における大量
 出土銭の銭貨 鈴木 正貴
 調査報告
 豊田の鉱業一挙母地区西部の磨
 き砂採掘について 天野 卓哉
 豊田市の近代和風建築と喜楽亭
 の遺構について
 畔柳武司／三輪邦夫／澤上順一
 新修豊田市史編さん活動記録

◆蓬 左 名古屋市蓬左文庫
 〒461-0023名古屋市中区徳川町1001
 TEL052-935-2173 1980年創刊
 housa.city.nagoya.jp
 ◇86 2013.3 A4 8p
 平成25年4月13日(土)～5月26日
 (日) 展示室1・2 名古屋城
 ・下御深井御庭一殿さまの秘園
 平成25年7月27日(土)～9月23日(月
 ・祝) 展示室1・2 歿後130
 年記念 夏季特別展 徳川慶勝
 一知られざる写真家大名の生涯
 平成25年6月1日(土)～7月21日
 (日) 展示室1 尾張名古屋の
 絵師たち一高雅・清を中心に／
 展示室2 尾張のまつり
 三つの正保尾張国絵図 種田 祐司
 表紙 宗廟朝廷之礼「御座之間御
 殿暇之図」32.×43.5cm

◆まつり通信 まつり同好会
 〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
 TEL0567-37-0441 年5000円
 ◇564 (53-2) 2013.3 B5 8p 600円
 3・4月の見学／新刊紹介 阿蘇と
 草原 環境・社会・文化(九州
 民俗学叢書4) 九州民俗学会編

女川町の春祈祷
 一小乗・石浜の獅子振り 久保田裕道
 境界を巡る新春行事(上) 高田 照世
 表紙写真のことは 古川祭り
 岐阜県飛騨市古川町 渡辺 良正
 新国指定・登録・選択の民俗文化
 財一平成25年1月18日文化審議
 会答申
 寄贈文献紹介 日本民間音楽研究
 第二巻・第三巻合訂本 水原潤
 江撰 香港日本学術交流委員会
 刊
 4月のまつり／5月のまつり

◆三重の古文化 三重郷土会
 〒514-2305三重県津市安濃町清水1008
 浅生悦生方 TEL059-268-2671 年3000円
 ◇98 2013.3 A5 126p
 東大寺領三重庄の所在地に関する
 一考察 久志本鉄也
 伊勢平氏の本流として生きた平頼
 盛 加山 久富
 伊勢市中村町菩提山瓦経の発掘 小玉 道明
 津市、稲垣文庫にみる切支丹史料
 浅生 悦生
 伊勢市二見町の砲台場跡・陣屋跡
 村上 喜雄
 松浦武四郎と交流のあった外国人
 一「洪団扇帖」・「自筆稿本」より
 福永 昭
 興行師「鳥熊」の足跡を歩く 萩原 正夫
 山名武画伯のこと一続々々々考古
 少年のノートから 岩野 見司
 伊東富太郎の足跡(5)
 一諸戸氏庭園 石神 教親
 2012年、三重の文芸事情 藤田 明
 紹介 志摩市歴史民俗資料館 崎川由美子
 書評 市田進一著『伊賀の石仏拓

本集』 山本 雅靖
 新刊紹介
 『続考古の社会史』 駒田 利治
 桑名しるべ石勉強会『桑名の戦
 争遺跡』 石神 教親
 追悼
 樋田清砂先生の御逝去を悼む 吉村 利男
 史料復刻 津市「山崎家文書」
 三重郷土会古文書勉強会
 新聞記事から 下村登良男
 事務局日誌 浅生 悦生

近 畿

◆湖国と文化 (財滋賀県文化振興事業団
 〒520-0044大津市京町3-4-22
 TEL077-522-8369 年2520円 1977年創刊
 www.shiga-bunshin.or.jp
 ◇143 (37-2) 2013.3 B5 92p 600円
 《特集 近江の庭園文化》
 近江の庭園文化 滋賀の美は琵琶
 湖と人の共同作品 尼崎 博正
 庭園を掘る一庭園修理の現場から
 隠れていた景色、再び一西明寺
 本坊庭園(甲良町池寺)の場合／
 石組の裏側に石組が……一多賀
 神社奥書院庭園(多賀町多賀)の
 場合／倒壊の真の原因は？一青
 岸寺庭園(米原市米原)の場合／
 夕立でわかった装置一慶雲館庭
 園(長浜市港町)の場合 重田 勉
 滋賀の名勝庭園一覧 国指定名
 勝・県指定名勝庭園／近江の豊
 かな庭園文化／滋賀の名勝庭園
 一覧地図
 庭と私
 湖の水運を支配した堅田文化の
 結晶 居初氏 天然図画亭 木村 至宏
 客殿と庭園が完全につながる

三井寺 光浄院庭園 加藤 賢治
 シーズンの後に1カ月かけて刈
 り込み 大池寺 編集 室
 縁側に座って心のタイムスリッ
 プ 大角家 旧中和散本舗 松村 浩
 平安時代の州浜や導水溝が蘇る
 兵主神社 河合 順之
 縦長の大きな石が並ぶ独特の雰
 囲気 豊会館 村上 修一
 1キロ南の芹川から逆サイフォ
 ンで導水 玄宮園 三尾 次郎
 庭園望み、主従関係確認の儀式
 行う 京極氏館跡庭園 高橋 順之
 安曇川沿いに時代と趣異なる名
 園 朽木池の沢と旧秀隣寺 宮崎 雅充
 庭を巡る 町全体が庭園一坂本の
 庭を巡る 滋賀院門跡宸殿庭園
 ／旧竹林院／芙蓉園(旧白毫院)
 植田耕司／長井泰彦
 インタビュー・湖と生きる(5)
 庭師 森口朝行さん(38) 植田 耕司
 四季をめぐる健康食 春編 香り
 と彩りがあふれる楽しい春の食
 卓 小川久子／武田律子／齊田充子
 滋賀文化事情
 chapter1 「文化で滋賀を元氣
 に！賞」に5グループと一人
 chapter2 市民に愛される2両
 編成の「市電」ラッピング
 と7分半間隔のダイヤで乗客
 増目指す
 談話室(12) 良弁と近江 湖南の
 金勝や菩提寺に開基の寺が集中
 良弁ゆかりの岩や口伝承が今も
 伝わる 小林 純子
 トチノキの里で考える(4)完 ト
 チの実 時間と手間と知恵をか
 けてあく抜き トチノキの果実

を通して地域とつながる 青木 繁
 いまどきの“元気なお寺”見聞(7)
 高島市マキノ町寺久保 長光寺
 夏休み最後の3日間は子どもた
 ちの寺子屋に ライフワークの
 「ともしび」や小説で縁をつな
 ぐ 辻村琴美／辻村耕司
 インタビュー 采翠徹住職
 近江人物伝(15) 藤堂高虎 地侍
 から大名へと取り立てられる秀
 吉、家康の両雄に重用された戦
 国武将 築城家の実力者で日光
 東照宮にも係わる 木村 至宏
 カラーグラビア
 びわ湖は県民の庭 長井 泰彦
 郷(さと)紀行 春 木村 正司
 近江植物記(最終回)
 エイザンスミレ 江南 和幸
 三上山風便り 金勝山桜日 八田 正文
 おわび紙と書と言葉(6)
 失われつつあるもの 増田 洲明
 近江の水をめぐる(2)
 職の水・用の水 石川 亮
 新シリーズ わたしと湖国(1)
 記者として見方が変わったいじ
 め事件 アウトドア体験で琵琶
 湖と自然を満喫 伊藤 舞虹
 北から南から
 琵琶湖に映えるかもめの水兵さ
 ん 山田 勝彦
 馬乗初式で児童や園児らが乗馬
 門野 昇二
 昔の風俗を伝える田上手拭 赤尾 和美
 ミシガンの中学校と交流、絆を
 深める 野口 観道
 工房内に手作り袋物コーナー 熊谷 もも
 おおつヴィクトリーズ、トーナ
 メント戦で実力発揮 編集 室

ニュースの小箱
 おうみ(近江)おうみ(多見)歩く(9)
 三上山から妙光寺山周辺 加藤 賢治
 歴史文書は語る 県政史料室から
 (7) 文化財 有形文化財とな
 った「県行政文書」 栗生 春実
 現代滋賀ブランド(11) 赤こんに
 ゃく 色に驚くが味と健康は保
 証 全国を目指す地域限定食品
 植田 耕司

◆彦根城博物館だより

〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1
 TEL0749-22-6100 1988年創刊
longlife.city.hikone.shiga.jp/museum/
 ◇100 2013.3 A4 4p
 資料紹介 泰安居士画像(井伊直
 政画像) 当館蔵 高木 文恵

展示案内 3月～6月 テーマ展
 3/8～4/9 直弼発見! 直弼と
 大名の交流/特別公開 4/12～
 5/7 展示室1 国宝・彦根屏風
 /テーマ展 5/10～6/4 展示
 室1 男面の魅力ー井伊家伝来
 能面から/企画展 6/7～7/9
 展示室1・2 新収蔵記念 彦根藩
 筆頭家老・木保清左衛門家資料
 催し 平成25年度支援スタッフ募
 集/「古文書のみかた」受講生
 募集/友の会会員募集/水無月
 狂言の集い/城郭関連博物館連
 携講座/スケジュール
 研究余録 金亀玉鶴 井伊家当主
 の遠忌と彦根城の修理ー井伊直
 孝150回忌から 青木 俊郎

◆民俗文化 滋賀民俗学会

〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5

TEL0740-36-1414 年4800円 1963年創刊
sigaminzoku.fc2web.com
 ◇594 2013.3 B5 12p 400円
 人類は何故お互いに争うの?一科
 学技術の急速な進歩と普及は人
 間を狂わせた 菅沼晃次郎
 七と十一の文化(4) 山本五十六、
 欧米七文化の破壊(1) 長谷川博美
 新訳「石山軍記」抄(3) 馬場杉右衛門
 多賀杓子の由来について
 ー滋賀県犬上郡多賀町 粕渕 宏昭
 南部家使用の墨書銘入柙について
 ー米原市の粕原歴史館蔵 粕渕 宏昭
 佐和山城址出土の志野膳について
 ー滋賀県彦根市 粕渕 宏昭
 滋賀の石造文化財(中世)の概観に
 ついて(31) 新善光寺宝篋印塔
 福澤 邦夫
 君ヶ崎稲荷神社の寒念仏と泥田新
 田ー横浜市金沢区 大喜多紀明
 村の姿とは「今むかし」 田中 春二
 講師 旭堂南陵(二代目)の聞き
 書き一代記(23) 菅沼晃次郎

◆古代史の海 「古代史の海」の会

〒615-8194京都市西京区川島栗田町22
 中村修方 FAX075-392-3743
 年4000円 1995年創刊
www.7.ocn.ne.jp/~kodaishi/
 ◇71 2013.3 A5 108p 1500円
 巻頭言 「海」との出会い 重村 英雄
 2012年・古代史総括 森岡 秀人
 乙訓(弟国)と土師氏 中村 修
 会員ひろば(小休止)
 壬申の乱と渡来安羅人 渡部 正路
 アンデス通信(24) 市木 尚利
 方位論再考Ⅱ
 ー断夫山は尾張氏か(1) 尾関 章

囲繞の系譜 重村 英雄
 「邪馬台国論争」の新視点と新視
 野(続) 山中 光一

◆史迹と美術 史迹美術同致会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
 西大路町146 中西ビル内
 FAX075-441-3159 年8000円 1930年創刊
 ◇388 (83-3) 2013.3 A5 34 915円
 口絵 江戸六地藏の鋳物師、太田
 駿河守藤原正義(1)
 風水研究(7) 敦煌文書『司馬頭
 陀地脉訣』和訳(下) 寺本 健三
 日本の塔百選(13)
 金剛輪寺(松尾寺)三重塔 中西 亨
 江戸六地藏の鋳物師、太田駿河守
 藤原正義(1)ー鋳物師交代(上) 石塚 雄三
 第978回例会 北村美術館・擁翠
 園と妙蓮寺を訪ねて 加藤 友規
 第979回例会
 談山神社から三輪桜井へ 東 暉
 関係誌紹介
 「石造美術勉強会」のお知らせ

◆都藝泥布 京都地名研究会通信

〒611-0031京都府宇治市広野町宮谷110-15
 糸井通浩方 TEL0774-44-7636
 年3000円 2002年創刊
www.geocities.jp/Kyotochimei/
 ◇43 2013.3 A4 8p
 第35回京都地名フォーラム報告
 発表1 西郷菊次郎と京都市の
 改造ー三大事業計画をめぐって
 (山本泰正)/発表2 歌枕「衣
 手の森」考(梅谷繁樹)/発表3
 賢野の池を考えるー所在地をめ
 ぐって(齋藤幸雄)
 京都地名研究会 第12回講演会案

内 講演1 深草と不幸者(ふかうさ)の連想—音訛で詠む地名(遠藤邦基)／講演2 イザベラ・バードが記した日本の地名—旅行記の翻訳に求められるべきことに関わって(金坂清則)

地名随想
“原発銀座”若狭湾の危ない地名(2) 綱本 逸雄
寺の名の付いた町名(4)
曇華院前町 清水 弘
町名をつけた町民のすごさ 小西 宏之
雑学こそ学問の基本—小寺氏の『雑学雑考』を讀える 吉田 金彦
会員 吉田勝氏からの情報提供
2013年度 地名フォーラム予告／
会員著作新刊紹介／受贈図書及び資料／予告 第32回全国地名研究者大会

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円
www.eonet.ne.jp/~sanonokai/

◇303 2013.3 B5 14p
近世前期の佐野村の構造(上) 井田 寿邦
資料 昭和7年、15年の泉州佐野の
力士名 北山 理
和泉の中世城郭(17) 井田 寿邦

◆大阪歴史懇談会会報
〒536-0008大阪府城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内 TEL06-6931-1081
年5000円 1984年創刊
blog.goo.ne.jp/rekisitanbou/

◇343 (30-3) 2013.3 B5 12p
巻頭言 古文書苦楽部より(2)
古文書の書かれた年月日について

て 寺井 正文
第319回例会案内／見る・聞く・学ぶ 第320回例会予定、今後の例会会場・講演予定／春の見学会のご案内、見学会からのお知らせ／会員の動き／会からのお知らせ
2月例会報告(第318回)「江戸時代の西宮神社」—御神影札の頒布をめぐる— 松本和明氏 (小池)
会員講座(第9回)「鎌倉仏教立宗開花について」 川村一彦氏 (川村)
ブック・インフォメーション

◆大塩研究 大塩事件研究会
〒530-0053大阪市北区末広町1-7
成正寺内 TEL06-6361-6212 1976年創刊

◇68 2013.3 A5 85p
《井形正寿元副会長追悼号》
大塩平八郎隠栖の書院全景 志村 清
撰河泉播村々の歴史・政治意識
—「大塩書付」の読み方 深谷 克己
幕末期の大阪湾警衛と村々 上田 長生
追悼 井形正寿氏
古い同志だった井形正寿さんと
私 荒木 傳
井形元副会長との思い出 内田 正雄
探求心旺盛な研究家 久保 在久
井形先生を偲ぶ 小西 利子
人生の恩人 柴田 晏男
大正七年の大阪陽明学会 小西 利子
大塩と私(15) 松井勇氏 久保 在久
洗心洞通信(56)

◆かいづか文化財だより テンブス
貝塚市教育委員会
〒597-8585大阪府貝塚市島中1-17-1
TEL072-433-7126 1996年創刊

◇49 2013.3 A4 8p
表紙 市制10周年記念式典／役場庁舎(『貝塚町勢要覧 昭和十三年度版』より)
貝塚町から貝塚市へ／平成25年度貝塚市郷土資料展示室企画展のお知らせ 「貝塚市の70年写真展3—昭和の貝塚—」展 平成25年5月11日(土)～6月30日(日)
古地図をひも解く 御巡見(ごじゅんけん) 道案内絵図(福原家文書)
古文書講座「江戸時代の牛取引」「江戸時代のお祝い事」／古文書講座(第41回)開催のお知らせ
平成24年度の埋蔵文化財調査
第98回かいづか歴史文化セミナー
春の文化財探訪 願泉寺公開

◆河童通心 和田寛
〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327
TEL072-251-2586 年2400円

◇347 2013.3 A5 16p 200円
『河童の三平』細見(2) 和田 寛

◆近畿文化 近畿文化会
〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
上本町YUFURA 7階
TEL06-6775-3686 年2200円

◇760 2013.3 A4 10p 300円
桑名・名古屋の名建築 川島 智生
播磨の城下町—姫路と龍野 大澤 研一

◆近畿民俗通信 近畿民俗学会
〒547-0031大阪府平野区平野南4-2-5
原泰根方 TEL06-6709-8533 2009年創刊

◇13 2013.3 A4 4p
朽木と私 坂井田あすか

第42回年次研究大会の開催報告
大会テーマ「ムカシのことを忘れたか」 (事務局 田中)
近刊の図書

◆左海民俗 堺民俗会
〒593-8307堺市西区平岡町268-20
下谷佐吉方 TEL072-274-1479 年3000円

◇141 2012.2 B5 10p
小谷方明と川崎巨泉
—郷土玩具、おもちゃ絵 小谷 寛
2012年度総会「総会 民俗談話講演」 高知での私の25年(1956～1981) 森井 淳吉
例会報告
10月例会報告(10月21日)
磐余・万葉歌碑を巡るⅨ 下谷 佐吉
11月例会報告(11月30日)
多武峯街道を歩く 植田 敏義
12月例会報告(12月9日)
「源氏物語」宇治十帖を歩く 下谷 佐吉
福徳寺の火渡りの感想 下谷 悦子
堺民俗会からのお知らせ

◆城だより 日本古城友の会
〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28
平川大輔方 TEL06-6652-4511
web1.kcn.jp/kojyo_tomonokai/

◇531 2013.3 B5 22p
摂津 多々部城・滝山城を探訪します(4月・第594回例会のご案内)
5月・第595回の予告／セミナー等のご案内／受贈図書資料／城郭ニュース(新聞記事提供者)／訃報
2月・第592回例会の報告
摂津 芥川山城 川端 義憲

会員通信
芥川山城 鳥瞰図 川端 義憲
大和国の中世城館(3)
環濠に囲まれる城館と集落 星野 直哉
新聞記事紹介

◆つどい 豊中歴史同好会
〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11
山口久幸方 TEL06-6857-4959
homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/
◇302 2013.3 B5 14p
考古学から見た四・五世紀のヤマト政権と吉備(後)その2 中司 照世
住吉大社参詣と新年会、四天王寺、御勝山古墳見学(1) 宮田佐智子
北摂散歩 新堀古墳 古高 邦子
俳句／4月の例会／4月の現地見学
／豊中歴史同好会2013年度例会
予定

◆摂播歴史研究 摂播歴史研究会
〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-12
TEL079-442-0658 1986年創刊
◇60 2013.3 B5 8p
加西市の「十字架地蔵」について 熊谷 保孝
播磨国大地震一貞観から安政まで 神栄 越郷

◆枚方市史年報
枚方市教育委員会文化財課市史資料室
〒573-1159大阪府枚方市車塚2-1-1
枚方市立中央図書館 TEL050-7105-8154
1996年創刊
◇15 2013.3 B5 70p
茄子作の村落秩序と偽文書(下)
一近現代の修史事業と伝承 馬部 隆弘
史料紹介 岡市正人の履歴 服部 敬

事業概要 平成22年度事業／平成23年度事業
展示「絵葉書にみる100年前の枚方」
平成24年1月5日～4月1日

◆生活文化史 史料館だより
神戸深江生活文化史料館
〒658-0021神戸市東灘区深江本町3-5-7
TEL078-453-4980 1981年創刊
homepage2.nifty.com/fukae-museum/
◇41 2013.3 B5 20p
深江物語(3)
一昭和20年代の深江浜を歩く 森口 健一
本庄小学校の二宮金次郎像 藤川 祐作
深江弁あれこれ 深江 塾
本庄小学校の歴史的な写真と展示 大国 正美

トライやる・ウィークと史料館一
本庄中学校の生徒を受け入れて 高田 祐一
ホームページアクセスの現状 高田 祐一
史料館日誌抄 道谷 卓

◆西宮文化協会会報
〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
西宮神社内 TEL0798-33-0321
◇540 2013.3 B5 8p
3月行事 春の見学会
伊勢松阪と斎宮歴史博物館
松阪と伊勢斎宮歴史博物館を訪ねる 山下 忠男
“龍馬脱藩” 文久二年土佐椿原(2) 二宮 健

◆歴史と神戸 神戸史学会
〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4
田中印刷出版内 TEL078-871-0555
年3000円 1962年創刊

◇296 (52-1) 2013.2 A5 49p 600円
《特集 50周年記念号3
開港地・神戸の点描1》
近代神戸の名旅館・西村旅館につ
いて一創業期の軌跡 宮本眞貴子
開港時の「兵庫の津」と「水深」 竹村 勝昌
兵庫の戦後モダニズム建築
第13回 神戸市庁舎 笠原 一人
兵庫の庭園再訪(5) 旧内田邸(天
理教兵神大教会)庭園について 西 桂
動乱期の青少年教育史話 ああ筒
台の辺に一戦中戦後を生きた中
高生の記録 森田 修一
ラジオ塔遺構について 柴田 昭彦
書籍紹介
渡邊大門著『赤松氏五代』 濱田浩一郎
神戸・阪神歴史講座 第8回
「八十嶋」一神戸川・猪名川下流
域の古代史を学ぶ
第8回地域史卒論報告会のお知らせ
／会員と原稿募集
新聞地域版を読む／会計報告

◆水平社博物館研究紀要
〒639-2244奈良県御所市柏原235-2
TEL0745-62-5588 1999年創刊
www1.mahoroba.ne.jp/~suihei/
◇15 2013.3 A5 68p 1000円
北原直訴事件一決行場面を中心に
今岡 順二
続・高知県水平社の政治運動への
進出 吉田 文茂
鴨神に関する一考察 記紀神話な
らびに『風土記』等に出る鴨神
とは何か 辻本 正教
全国水平社創立90周年・大和同志
社創立100周年記念事業「おも
いやり」ショートレター

◆奈良学研究 奈良学学会
〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1
帝塚山大学奈良学総合文化研究所
TEL0742-48-8842 1997年創刊
◇15 2013.2 A5 118p
谷崎潤一郎が描いた奈良 中島 一裕
奈良時代の牧と馬の貢上一天平勝
宝六年吉野百嶋解について 鷲森 浩幸
安永期大和の綿国訴をめぐって一
研究の軌跡と新出史料の紹介 谷山 正道
史料紹介
文久二年春日社神鏡落御始末 岡本 彰夫
『弘化四年未正月改 年中行事并
家事取極記』(有山肇家文書) 高田 照世
帝塚山大学図書館蔵『江戸道中
記』『嵯峨名所』『奈良大乘
院院家南院資料』について(3) 中根 麻貴

◆奈良県立同和問題関係史料センター
研究紀要
〒630-8133奈良市大安寺1-23-1
TEL0742-64-1488 1994年創刊
◇18 2013.3 A5 109p
中世大和「盲目衆補任次第」を考
える 山村 雅史
〈小特集
明治期奈良県における部落問題の諸相〉
市制町村制期の奈良県における町
村合併について一考察 井岡 康時
奈良英和学校におけるアイザック
＝ドーマン『THE SPIRIT
OF MISSIONS』の史料紹介を
中心に 片山 周二
未遂の部落差別撤廃運動
一帝国威一会・大日本威一会 奥本 武裕
特別寄稿 奈良県の雨乞い習俗と

地域社会—被差別民衆史の視点から	池田 士郎
◆熊野誌 熊野地方史研究会 〒647-0045和歌山県新宮市井の沢4-15 新宮市立図書館内 TEL0735-22-2284 1958年創刊 ◇59 2012.12 B5 154p 1600円 《中上健次没後二十年記念特集号》 ヤタガラスの弥之助の中上健次文学案内・新宮歩楽歩楽マップその3・解説 中上健次禅宗・単行本未収録作品メッセージ 梅原猛対談へ向けてのメッセージ 対談Ⅰ 宇江勝敏 熊野の自然、風土、歴史 記録：茨木和生 対談Ⅱ 河村憲一 四〇歳、同級生が故郷・新宮を語り合う—ニューヨークからのメッセージ インタビューⅠ 芥川賞受賞直後 インタビューⅡ わがらの町 インタビューⅢ 『地の果て 至上の時』その周辺 聞き手：恩田雅和 インタビューⅣ 本宮での「かなかぬち」公演前 論考編 健次少年の創作「帽子」をめぐる って 守安 敏司 没後二十年の中上健次 一遺作『軽蔑』と竹原秋幸 高澤 秀次 一九九二年、夏から秋へ・中上健次追悼—「二十年前」を想い起こして 辻本 雄一 二十年の血の一滴 中上 紀 中上健次『千年の愉楽』と上田秋成『雨月物語』『蛇性の姪』	

	山崎 泰
「マコンド」にて「露地」を思う	田村さと子
回想編	
中上健次君の高校時代の一端	榎本 貢
一同級生の回想	平山 信之
中上健次君とのこと	仲 光男
劇場用映画「軽蔑」にかかわって	津越 紀宏
熊野大学のころ	田中 旬子
中上健次と熊野大学俳句部	
—健次が言わなかったこと	谷口 智行
20years—熊野大学事務所のこ	
となど	古藤 浪
未完成な私	畑 道子
聞き書き 向井隆さんに聞く 中上健次に同行したアメリカ横断紀行のことなど	辻本 雄一

中国・四国

◆岡山の自然と文化 郷土文化講座から 岡山県郷土文化財団 〒700-0813岡山市北区石岡町2-1 TEL086-233-2505 1982年創刊 ◇32 2013.3 A5 298p 岡山における水との闘い—旭川と 百間川の過去・現在・未来 植田 彰 「民藝を語る」 外村家で暮らして 上田 睦子 くらしに民藝を 金光 章 造形史から見る仏像の意義について て 土井 通弘 岡山の文学者たち —多士済々と反骨と 綾目 広治 第2回おかやま文化フォーラム「見えてきた古代吉備の実像」	
---	--

◆岡山藩研究 岡山藩研究会 〒169-0051東京都新宿区西早稲田 早稲田大学文学部 紙屋研究室内 blogs.yahoo.co.jp/okayamahanwasedq/ ◇69 2013.2 B5 32p 〈第34回全体会の記録〉 報告要旨 江戸幕府職制形成の契機—老中と側用人の成立をめぐる って 小林夕里子 討論要旨（都合により次号に掲載） 参加記 小林夕里子報告「江戸幕府職制形成の契機—老中と側用人の成立をめぐる—」を聞いて 深谷 克己 小林夕里子報告「江戸幕府職制形成の契機—老中と側用人の成立をめぐる—」を聞いて 大森 映子 事務局から 第35回全体会のご案内 2013.3.16 ◆きび野 岡山県郷土文化財団 〒700-0813岡山市石岡町2-1 TEL086-233-2505 ◇129 2013.3 A5 14p 表紙説明 鹿子木孟郎『海岸』 妹尾 克己 随 想 葦川会館のピアノとクロイツァー — 杉浦俊太郎 『融解』 岩朝 清美 岡山の人物 美作国守護職と院庄館跡 梶村 明慶 岡山の自然 サクラソウ 片岡 博行 岡山の文化財 高梁基督教会堂 加古 一朗 わが町・わが村の自慢 人と科学 の未来館サイビア(岡山市北区) ふるさとの思い出 良寛「印可の	
---	--

偈」の石碑建立（倉敷市） 文化財団ニュース／催しのご案内 ／会員だより ◆倉敷の歴史 倉敷市総務局総務部総務課 〒710-1398岡山県倉敷市真備町箭田1141-1 総務課歴史資料整備室 TEL086-698-8151 1991年創刊 www.city.kurashiki.okayama.jp ◇23 2013.3 A5 119p 初代徳島藩主書状から見える慶長 ～元和期の池田家の構造 内池 英樹 玉島石工 安田屋新蔵とその狛犬 藤原 好二 瀬戸内児島の鯛網漁考 太田 健一 倉敷市域における武術流派竹内流 の系譜 足立 賢二 聞き書き倉敷の歴史 林源十郎商店 記念室づくりにたずさわって 土岐 隆信 史料紹介 倉敷代官支配の小豆島における 不動産紛失をめぐる訴訟史料 山本 太郎 「安原太郎日記」について 前田 昌義 史料群紹介 倉敷市所蔵岡山藩家 老天城池田家家臣平山家文書 畑 和良 アラカルト 徳富蘆花夫妻と養父ヶ鼻 大島 崇雄 報告 平成23年度歴史資料講座 新刊紹介 岡山県立美術館学芸課 編『塩田王野崎家 ゆかりの人 と作品 野崎家塩業歴史館』、 「倉敷市 帯高の歴史 高沼干拓 三五〇の春」、岩田牧子『廻船 問屋から 六代二〇〇年の物 語』、兼田麗子『大原孫三郎— 善意と戦略の経営者』	
---	--

『倉敷の歴史』第24号投稿要領／
歴史資料整備室日誌(抄)
『新修倉敷市史』、研究誌『倉敷の
歴史』

◆**芸備地方史研究** 芸備地方史研究会
〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島
大学大学院文学研究科日本史学研究室内
TEL082-424-6643 年3000円 1953年創刊

◇284 2013.2 A5 58p

《小特集 山間地域史研究の現状》
「山間地域研究の成果・課題・展望」
にあたって

山間地域史研究の視座—石見銀山
領の村における生産・流通・資
本 仲野 義文
近世後期におけるたたら製鉄業の
展開—出雲国松江藩領を中心に
鳥谷 智文

動向 広島県の地方史研究
史跡をあるく
鳳源寺／頼杏坪役宅(運甓居) 玉井絵里香

◆**備陽史探訪** 備陽史探訪の会
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157 bingo-history.net

◇170 2013.2 A4 20p

国府城について 田口 義之
論文 杉原下総守家と高須杉原氏
について 木下 和司
新しく部会学習会開設！「近世福
山を読む」

郷土探訪 連載「川筋を訪ねて」
(1) 蓮池川の三枚橋 種本 実
調査報告 藤尾・父尾銀山間歩の
位置確認 田口 由実
例会報告 播州路に古代ロマンに
魅せられて 小川 道子

姫路で箸墓・石舞台を見た 野母 寿子
例会俳句 備後史の原点、福山市
水呑町洗谷を歩く—ぶら探訪に
参加して 住田 保夫
山城レポ 高山城への想い 末森 清司
福山人伝説 福山に伝説残す人物
「酒井山城守重澄編」 中西タイチ
大分便り 故郷の遊び「大分の喧
嘩ごま」 後藤 匡史
おすすめ図書 「笠岡界隈ぶらり
散策」(ぶらり笠岡友の会 岡
山文庫) 岡田宏一郎
備探クイズ
随想 日置天神社 熊谷 操子
紀行文 対馬紀行(5) 三好 勝芳
総会報告 平成25年度総会
事務局長新旧交替挨拶
事務局長を退任 藤井 保夫
事務局長に就任 田中 伸治
事務局便り 行事案内 3月ミニ
例会 ぶら探訪十「両備軽便鉄
道跡を歩く」／3月徒歩例会「道
上地域の地域史を訪ね歩く」／3
月青春18きっぷの旅「叡山坂本
の歴史の道をゆく—滋賀院門跡
から西教寺まで歩く—」／各部
会学習会・講座／事務局日誌

◆**広島土史研究会会報**

〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4
呉市広公民館内 TEL0823-71-0706
1998年創刊

◇113 2013.3 A4 35p

楠見久先生をかこむ広中央尋常高
等小学校同窓会 写真提供：菊
本 齊 上河内良平
師弟の絆 楠見久先生と教え子の
交わり 菊本 齊

藤田家文書 F J 章
広島土史研究会古文書部会
小・中学校で歴史講座／平成25年
度 広島土史研究会例会予定表
(案)／古文書部会の報告／例会
の主な感想／新入会員紹介／入
会案内／例会報告／第106回例
会のお知らせ 師弟の絆 楠見
久先生と教え子の交わり(菊本
齊)／古文書部会のご案内

◆**広島民俗** 広島民俗学会

〒731-0211広島市安佐北区三入1-26-24
岡崎環方 TEL082-818-3497 1974年創刊
◇79 2013.3 A5 72p 500円
広島文化賞受賞—シャローからデ
ィープな民俗研究を 三村 泰臣
平成24年度総会・研究会 シンポ
ジウム「広島の酒とくらし」
前垣壽男／稲田公子／三村泰臣
／コーディネーター 栗原秀雄
広島県内の特殊神事の調査につい
て 尾多賀晴吾
比婆荒神神楽を拝見する—平成23
年12月3～4日 広島県庄原市東
城町竹森にて 下畠 信二
「広島文化賞」を受賞 栗原 秀雄
広島県史民俗編の刊行と広島民俗
学会の設立をめぐる 藤井 昭
受贈図書／彙報

◆**わが町三原** みはら歴史と観光の会

〒723-0062広島県三原市本町1-9-27
福岡幸司方 TEL0848-62-2935 年3600円
◇264 2013.3 B5 12p 100円
今月の各地 卑弥呼の郷三原説 宮原 幸司
春のハイキング 正法寺の国重要
文化財見学と戸田家の墓地訪問

鈴木 健次
平氏と三原(1) 大谷 和弘
三原のあゆみ(6)(芸陽日々新聞
創刊20周年記念誌より) 江戸
時代の三原(つづき)／郷土史略
年表

◆**徳島県立博物館ニュース**

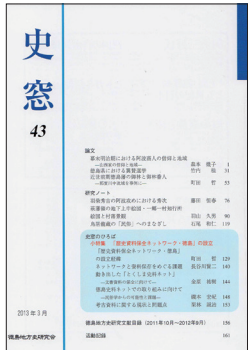
〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文
化の森総合公園 TEL088-668-3636
1990年創刊
www.museum.tokushima-ec.ed.jp
◇90 2013.3 A4 8p
豊臣秀吉が生きた時代の大坂を描
く 豊臣期大坂図屏風 8曲1隻
(部分) 松永 友和
Culture Club
瓦は何を語るのか？ 岡本 治代
平成25年度企画展 天下の台所大
坂と徳島—江戸時代の交流史
平成25年4月27日(土)～6月9日
(日)
情報ボックス 仏の正月 磯本 宏紀
館蔵品紹介 博物館に保管されて
いるタイプ標本 山田 量崇
Q & A 徳島県から恐竜の化石が
発見されてるって、本当ですか
？ 辻野 泰之

4月から6月までの博物館普及行事
あなたも参加してみませんか？
／普及行事のお申し込みについ
て／博物館友の会に入会しませ
んか！／学校の先生方にお知ら
せ！

◆**史窓** 徳島地方史研究会

〒779-3233徳島県名西郡石井町石井字石井
1071 金原祐樹方 TEL088-674-2806

◇43 2013.3 A5 164p 1429円
論 文
幕末明治期における阿波商人の
信仰と地域—山西家の信仰と
地域 森本 幾子
徳島県における翼賛選挙 竹内 桂
近世前期徳島藩の御林と御林番
人—那賀川中流域を事例に 町田 哲
研究ノート
羽柴秀吉の阿波攻めにおける秀
次 藤田 恒春
萩藩領の地下上申絵図・一郷一
村知行所絵図と村落景観 羽山 久男
鳥居龍蔵の「民俗」へのまなざ
し 石尾 和仁
〈史窓のひろば 小特集「歴史資料保全ネッ
トワーク・徳島」の設立〉
「歴史資料保全ネットワーク・徳
島」の設立経緯 町田 哲
ネットワークと資料保存をめぐる
課題 長谷川賢二
動き出した「とくしま史料ネット」
—文書資料の保全に向けて 金原 祐樹
徳島史料ネットで取り組みに向
けて—民俗学からの可能性と課題
磯本 宏紀
考古資料に関する現状と問題点 栗林 誠治



徳島県地方史研究文献目録（2011
年10月～2012年9月）
活動記録 2011年10月～2012年9月
＊徳島地方史研究会は、2012年1月開催の公
開研究会「災害史に学ぶ阿波の歴史」で、徳
島における地震・津波災害の被害実態の多角
的な検討の必要性が提起されたことを受け、
同年9月、「歴史資料保全ネットワーク・徳島
（略称「徳島史料ネット」）を設立した。災害
時の歴史資料保存は当然のことであるが、地
域のあり方を歴史的に見つめ直す力量を高め
ることが必要であり、それには研究者と市民
が共に地域・歴史を考察する素材としての歴
史資料を守り伝えていくことの重要性を認識
しなければならないとしている点が注目され
る。その目的達成のために、①災害時の被災
歴史資料（地域歴史遺産）の保存活動、②災害
以前からの歴史資料の把握・所在確認等、③
地域史をめぐる、地域住民、自治体、大学、
史料保存機関・組織（博物館・文書館等）との
連携・情報発信などの活動を行うことにして
いる。町田哲氏は設立経過を報告する中で、
「地域の歴史を未来に伝えていく営みを、多
くの組織・個人の共同によって支え培ってい
く」ことを大切にしていきたいと訴えてい
る。多数の市民が自らの拠り所として参加す
ることを願って止まない。

◆伊予史談 伊予史談会
〒790-0007愛媛県松山市堀之内
愛媛県立図書館内 1915年創刊
◇369 2013.3 A5 111p 715円
《創立100周年記念特集号(2)》
伊予史談会百年の歴史 高須賀康生
伊豫史談論文目録(301号～367号) 清水 正史
伊予史談会例会記録(平成15年4月
～平成25年3月) 編 集 部

郷土その日その日 編 集 部
例会記事
◆秦史談 秦史談会
〒780-0023高知市東秦泉寺283 松本紀郎
方 TEL088-875-6671 1984年創刊
◇173 2013.2 B5 61p
表紙 巳・十二支土鈴によせて 松下 政司
グラヴィア 龍馬の絵、博覧会ポ
スター、川内神社、土御門上皇
行宮跡、雨情記念館、秦文化祭
幕末明治の品川と「リトル・コウ
チ(高知)」 彦坂 徹
楠瀬大枝の周辺(6)
大枝の桜の絵など 和田 豊子
龍馬の妻 お龍の出自異聞 岩崎 義郎
初笑い(俳句) 西方 郁子
土御門上皇と四国路(4) 溝渕 匠
「絵金」生誕200年 圧巻の屏風
地元・高知で記念展(『讀賣新聞』
平成24年11月29日朝刊)
続・坂本龍馬が現代に生きている
龍馬像の変遷 広谷喜十郎
ともこの昭和時代(19) 懐かしの
リベラル劇場(『土佐の民話』
市原麟一郎編 から) 藤本 知子
土佐路の野口雨情(6) 永国 淳哉
求菩提山、普在の山伏たち 笹原 保博
文政の旅日記(1) 鍋島 静一
瑞山の生家と墓所(俳句) 溝渕 匠史
「ローカルジャーナル 秦史談」
(『高知新聞』より)
永国先生の「土佐路の野口雨情」
関連(4) 溝渕 匠
戦史15 シベリア抑留日本兵の軌
跡(4)―「画文集」シベリア抑留
1450日 毛利 俊男
龍馬さんってどんな人 松本 紀郎

水鳥(俳句) 久米生太子
第8回秦ふれあいセンター文化祭
出典作品目録／秦文化祭出典作
品から
秦文化祭出典
神代文字碑／一つ家の歌碑 岡村 庄造
2012(平成24)年度 経過報告／
2012(平成24)年度 会計報告
九州・沖縄
◆市史研究ふくおか
福岡市博物館市史編さん室
〒814-0001福岡市早良区百道浜3-1-1
TEL092-845-5245 2006年創刊
◇8 2013.3 A4 136p
《特集 15・16世紀の博多とアジア》
市史講演会「15・16世紀の博多と
東アジア」の講演録掲載にあた
って 有馬 学
講演 大内氏と博多 伊藤 幸司
講演 豊臣秀吉と博多 中野 等
〈小特集 福岡発・維新へのまなざし
—『維新雑誌』とその時代〉
「資料編 近現代1」刊行記念シン
ポジウム 福岡発・維新へのま
なざし—『維新雑誌』とその時
代 日比野利信
資料紹介 「慶応元乙丑十月廿三
日お追々御所置之一件写」の紹
介と『維新雑誌』の筆者につい
て 仲村慎太郎
記念講演 『維新雑誌』の可能性 飯塚 一幸
近世城郭における防御施設の実態
—福岡城の櫓を例に 伊津見孝明
生田徳兵衛資料と新聞記事にみる
博多にわか—ラジオの時代前後
山田 広明
浜の町貝塚第1次調査の報告

—近世遺物を中心に 吉留 秀敏
博多遺跡群出土イス頭蓋の研究
古賀日香里／沖田絵麻／富岡直人
福岡市史編さん事業活動記録

◆年報 太宰府学 太宰府市市史資料室
〒818-0132福岡県太宰府市国分4-9-1 太宰府市文化ふれあい館内 TEL092-921-2322
2007年創刊 dasaifu.mma.co.jp
◇7 2013.3 A4 74p
論文
『続日本紀』の筑紫尼寺 高倉 洋彰
齋藤利圓研究(2) 橋富 博喜
翻刻『京遊日記』(稿) 柳 智子
全国の木鸞
一伝播と変容について 柳 智子
研究ノート 中世太宰府の道一太宰府東北部の様子 山村 信榮
報告
太宰府市行政文書の保存について 藤田 理子
甘木屋下張り文書調査報告—幕末・近代太宰府の門前町関係史料 古賀 康士
文献目録 征西将軍宮関係文献目録 川添昭二／朱雀信城
市史資料室日誌

◆鹿児島民具 鹿児島民具学会
〒897-0004鹿児島県南さつま市加世田内山田6278 G-101 井上賢一方
年2500円 1980年創刊
◇25 2013.3 B5 154p
《霧島山麓特集号》
表紙解説 四部落太鼓踊り(鹿児島県湧水町川西 南方神社)
口絵 湧水町の民具から／南九州の龍柱

序、本誌刊行によせて 下野 敏見
「霧島山麓の民具共同調査」調査位置図
里・山・川の民具を考える
湧水町の棒締頭絡 小島 摩文
霧島山麓の農具と運搬具 井上 賢一
鹿児島茶の源流を訪ねて 川野 博志
湧水町の河川漁法と漁具、環境の変化 徳留 秋輝
鹿児島県湧水町で見た竹と竹製民具 濱田 甫
ムラとイエの民具を訪ねて
「湧水町民具」見て歩き 下野 敏見
湧水町の民具から
—吉松町を中心として 牧島 知子
湧水町の民具を訪ねて
—収蔵庫内の民具と垣根 渡山 恵子
霧島山麓湧水町の食生活具と暮らしの変化 對馬 秀子
まちをはぐくむ民具の世界
清水の沸き出ずる町のまちづくり 二見剛史／二見朱實
湧水町の昔と今 有村 澄子
モノからみる湧水町の郷土芸能 下野 敏見
調査概要
レポート
霧島山麓の民具共同調査に参加して 竹中 暁美
鉄道～肥薩線「吉松」駅重点調査記録 伊達 廣隆
コラム
勝栗神社 橋口 尚武
吉松の餅勧進 井上 賢一
聞き書き
屋久島の竜蛇の話覚書(2) 本田 碩孝
研究論文 南九州の龍柱について 橋口 尚武

◆宮古郷土史研究会会報
〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8
下地和宏気付 TEL0980-72-9963
◇195 2013.3 B5 8p
3月定例会レジュメ 字(童名)の由来(その起り)を考える 下地 利幸
神話伝承の分布と交流
—1月定例会のまとめ 宮川 耕次
宮古の氏と姓の由来 苗字(平良・砂川・下地)がなぜ多い—2月定例会のあらまし 砂川 幸夫
第23回企画展「現代宮古の作家たちⅨ」の紹介 砂川 史香
ミヌズマ遺跡発掘調査速報 久貝 弥嗣
松原村と久貝村 下地 和宏
反戦平和に挺身した星野勉(キリスト教団宮古島伝道所)牧師逝く
首里城公園友の会「宮古巡検」 仲宗根將二
「台湾遭害事件」等の金城正篤教授 東恩納寛博賞受賞 仲宗根將二

◆宮古島市総合博物館紀要
〒906-0011沖縄県宮古島市平良字東仲宗根添1166-287 TEL0980-73-0567
◇17 2013.3 B5 163p
ニコライ・ネフスキーと若水の神話 宮川 耕次
宮古馬のルーツを探る(続)—南馬の飾り馬・江戸献上馬・冊封使の乗馬と毛色 長濱 幸男
「与那国の鬼虎征討」の意義—フアッションリーダーとしてのつかさ 奥濱 幸子
宮古諸島池間島のトンボ・直翅類 小浜継雄／佐々木健志
宮古諸島初記録のアシナガベンケイガニ 藤田 喜久

2012年にヌグスクガー(野城泉)で再確認されたミヤコチスジノリ 藤田喜久／岸本和雄
新里の「トゥスナギ スマフサリヤ」祭祀 新垣則子／佐藤宣子
／下地和宏／本永清
与那覇湾
—ラムサール条約登録湿地 仲地 邦博
宮古における鍛冶伝承 下地 和宏
宮古の地機について 仲間 伸恵
宮古関係図書紹介 新里幸昭『宮古歌謡の研究 続1』 仲宗根將二
史料紹介 馬続氏支流系図家譜 仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆就将館だより
松岡藩藩校「就将館」・高萩市教育委員会生涯学習課(〒318-0033 茨城県高萩市本町1-208 TEL0293-23-1132) 2012年11月 A5 27頁 非売品
高萩市の市報「たかはぎ」において、平成23年1月から平成24年9月まで、20回にわたり掲載された松岡地区に関する歴史資料を再編集しまとめる。151年目を迎える「就将館」／戸沢政盛公が「竜子山城」を「松岡城」と改める／戸沢政盛公が世界遺産の日光東照宮に石燈籠を奉納／戸沢氏時代の松岡領地／中山氏時代の松岡／優れた才能を持った人が育つところ／一騎当千の勇者、中山勘解由家範／「栃木県指定史跡」日光輪王寺釈迦堂 中山信吉公の墓／埼玉県指定史跡 中山信吉公の墓／御附家老について／水戸藩の初代藩主 頼房の附家老になった中山信吉公／将軍家から藩に附けられた家老で 大名に準ずる格式が与えられていた／頼房の伊達拵えの刀や脇差、衣類など 不行跡をやめさせた信吉公／徳川光圀を水戸藩の2代目藩主に選んだ中山信吉

公／2代中山信吉が松岡の地を与えられる／3代中山信吉が水戸に桂岸寺を建立／10代中山信吉は5代水戸藩主、宗翰の9男／イギリス人12人が大津浜に上陸／幕末から明治維新までの激動期を乗り切った中山信徴／中山信徴公と松村任三博士が協力、日光分園を開園

◆図解 常陸国風土記 高萩編

秋本吉徳監修 高萩市教育委員会・松岡藩藩校「就将館」(同上) 2013年1月 A5 34頁 100円

「風土記撰進の詔」発布1300年を記念して製作。「常陸国風土記」の中から高萩に関することを抜粋・解説する。風土記編纂の詔から1300年の節目の年(草間吉夫)／監修のことは(秋本吉徳)／まえがき／詔／風土記／報告作成者／常陸国／常陸国の特色／茨城の由来／多珂郡／国造／ヤマトタケル／総記(現代語訳)／多珂郡(現代語訳)／発刊にあたって(佐川春久)

◆高萩歴代領主

松岡藩藩校「就将館」編 高萩市・高萩市教育委員会 (同上) 2013年3月 B6 198頁 667円

多珂国造建御狭日命／頼朝の有力御家人 宇佐美左衛門尉祐茂／高萩地方を176年間支配した大塚氏／初代松岡城主 戸沢政盛／第2代水戸藩附家老 中山信正／第3代水戸藩附家老 中山信治／第4代水戸藩附家老 中山信行／第5代水戸藩附家老 中山信威／第6代水戸藩附家老 中山信敏／第10代水戸藩附家老 中山信敬／第11代水戸藩附家老 中山信惜／第12代水戸藩附家老 中山信守／第13代水戸藩附家老 中山信宝／第14代水戸藩附家老 中山信徴

◆古文書解読集5

守谷古文書サークル編・刊 (TEL0297-45-2161) 2012年12月 A4 209頁
茨城県守谷市において活動が続けている守谷

古文書サークルによる市内の古文書解読集第5集。11代將軍徳川家斉の小金野における鹿狩についての人足の割り当てや着意事項などが詳細に記された守谷市内斎藤家(守谷町)蔵「小金野御鹿狩御用留帳」(寛政6年(1794))と、天保改革の人返し令に関わる書状等々をまとめた染谷家(赤法花村)蔵「御用状留」(天保14年(1843))の原文全編(影印)、解説文・読み下し文を、用語の説明とともに収録する。

◆宇都宮国綱とその時代

一戦国大名から豊臣大名へ
栃木県立文書館編・刊 (〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20 TEL028-623-3450) 2011年11月 A4 28頁
栃木県立文書館の開館25周年記念企画展の図録。鎌倉時代以降、二荒山神社の神官として下野全域に影響力を及ぼした下野最大の武家領主の宇都宮氏最後の当主、宇都宮国綱に関連した文書63点を通して、戦国期から豊臣期の下野国を紹介する。ごあいさつ(鈴木健一)／国綱以前の宇都宮氏／後北条氏との対決／豊臣大名への道／豊臣政権下での国綱／改易後の宇都宮氏／展示資料一覧

◆片府田富士山遺跡―市道宇田川佐良土線整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告書 大田原市埋蔵文化財調査報告1

日本窯業史研究所編 (〒324-0611 栃木県那須郡那珂川町小砂3112 TEL0287-93-0711) 大田原市教育委員会 (〒324-0492 栃木県大田原市湯津上5-1081 太田原市教育委員会生涯学習課文化財係 TEL0287-98-7155) 2012年10月 A4 261頁+図版39

国庫保補助事業大田原市道宇田川佐良土線整備事業に伴う大田原市片府田地内所在の片府田富士山遺跡の発掘調査報告書。巻頭図版／序／例言／凡例／発掘調査に至る経緯と経過(調査に至る経緯、発掘調査の方法と経過)／遺跡の環境(地理的環境、歴史的環境)／発

見された遺構と遺物(発掘調査の概要と基本土層、旧石器時代末から縄文時代草創期の石器、縄文時代、その他の時代の遺構と遺物)／調査の成果(旧石器時代から縄文時代草創期、縄文時代の遺構及び遺物)／自然科学分析(放射性炭素年代測定による年代、石器等の石材鑑定、テフラ組成分析、屈折率測定)／写真図版／付図 大田原市内遺跡分布図・片府田富士山遺跡遺構配置図

◆「写真で見る袖ヶ浦の今昔」記録集

袖ヶ浦市郷土博物館 市民学芸員どんぐりの会編 袖ヶ浦市郷土博物館 (〒299-0255 千葉県袖ヶ浦市下新田1133 TEL0438-63-0811) 2012年3月 A4 16頁
袖ヶ浦市郷土博物館の平成22年度の企画展記録集。ふうけい(航空写真と街並み、久保田城址、上田屋用品展、昭和地区、登戸時計店、中川橋、海苔養殖、干拓)／たてもの(校舎、駅舎、根形産業組合澱粉工場、三育学院)、人とくらし(学校と子どもたち、町民体育祭、祭礼、タナイド払い)／市民学芸員メンバー

◆万葉のいろ

袖ヶ浦市郷土博物館編・刊 (同上) 2012年6月 AB 32頁
袖ヶ浦市郷土博物館の平成24年度企画展(5月26日～7月1日)の図録。館内の万葉植物園で見られる105種類の万葉歌に詠まれた植物など、万葉植物をテーマとして絵画とは違う手法で描かれた植物画と、古来からの方法による鮮やかな色彩の草木染めの布を展示・紹介する。万葉植物図譜(二口善雄 植物画、日本植物画倶楽部会員植物画)／万葉のいろ(官位という、色年表、天然染料という、自然の形を染める、染布百色―山崎和樹氏の仕事、万葉植物園MAP、全国の主な万葉植物園)

◆袖ヶ浦市郷土博物館要覧

袖ヶ浦市郷土博物館編・刊 (同上) 2013年3月 A4 45頁

重点施策及び沿革(建設の目的・そではく30の展望、沿革)／運営・組織(博物館協議会、組織・職員、友の会、市民学芸員、上総掘り伝承研究会)／施設概要(施設整備概要、博物館管理区域図、施設概要、本館平面図、入館者数)／展示概要(常設展示、常設展示資料一覧、屋外施設)／事業概要(展示更新推進事業、教育普及事業、博学連携事業、地域資料管理活用事業、調査研究事業)／関連条例／利用案内

◆そではくガイドブック

袖ヶ浦市郷土博物館編・刊 (同上) A5横 15頁
1F 常設展示／1F 民俗展示室／2F 常設展示／屋外施設 古代住居の広場、アクアラインなるほど館、旧進藤家住宅、万葉植物園／袖ヶ浦公園の植物といきもの／袖ヶ浦公園散策マップ／学びつながら博物館／そではくで学ぼう―より深くそではくとつながっていくために

◆地蔵と閻魔・奪衣婆―現世・来世を見守る仏 民衆宗教を巡る

松崎憲三著 慶友社 (〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-48 TEL03-3261-1361) 2012年9月 B6 233頁 2800円

地蔵と閻魔―参詣・巡拝習俗を中心に／江戸・東京の閻魔と奪衣婆―新宿・大宗寺と正受院を中心に／奪衣婆信仰の地域的展開―秋田県下の事例を中心に／おんば(御姥)様と奪衣婆についての予備的考察―会津地方を事例として／曹洞宗寺院と優婆塞信仰―阿賀野市・華報寺を中心に／新潟市内のウバサマ信仰と講―阿賀野の華報寺と高德寺を視野に／巢鴨とげぬき地蔵にみる世相―新聞記事(1907～2010年)の分析を中心に／地蔵流し考―千体地蔵を視野に／あとがき／註・参考文献

◆東京―その復興の歴史

平成24年度文化財企画展

千代田区立日比谷図書館文化財事務室編
(〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4
TEL03-3502-3348) 千代田区教育委員会刊
2012年7月 A4 45頁

関東大震災、その後の戦災からの復興の様子、東京オリンピック開催前後の街並みの変化を、区広報広聴課で保存されている昭和30年代以降の区内風景を撮影した写真や、東京都生活文化局で所有する貴重な都内の風景写真で紹介する。開催にあたって／もくじ／関東大震災からの復興、そして戦争へ／占領から復興へ／変わる街並み／東京に暮らす／子どもの遊ぶ街

◆平塚市博物館所蔵歴史資料目録Ⅶ

神奈川県立平塚江南高等学校旧蔵資料
平塚市博物館資料57
平塚市博物館編・刊 (〒254-0041 神奈川県平塚市浅間町12-41 TEL0463-33-5111) 2012年9月 A4 344頁

2005年7月に寄贈された県立平塚江南高等学校旧蔵資料目録。物品資料48件、文書資料34件を収録する。物品資料の部 解題、目録(器物・道具類37件、軸書類7件、その他4件)／文書資料の部 綴帳一覧表、詳細目録

◆乙訓の原像・続編

中村修著 ビレッジプレス (〒177-0053 東京都練馬区関町南1-7-1-2F TEL03-3928-7699) 2012年6月 B6 290頁 2000円
古代史上における淀川水系・乙訓地域の重要性を問い直した前著『乙訓の原像』(2004年4月刊)に続いて、季刊雑誌『古代史の海』に掲載された論文を中心に、丁寧な資料分析と現地調査からまとめられた乙訓古代地域史論。序(山中章)／乙訓(弟国)と久我／乙訓(弟国)と茨田氏／乙訓郡の郷名比定／山中の異なる二つの羽東郷／六人部氏と天田郡六部郷／「六人部連本系帳」の真贋を考える／「向日二所社御鎮座記」を読む／あとがき

◆久美浜風藻 丹後久美浜詩歌文集 太平文庫72

斎田作楽編著 太平書屋 (〒113-0021 東京都文京区本駒込1-15-12-201 TEL03-3943-4991) 2012年8月 A5 420頁 7000円
稲葉宅蔵編集・発行の『漁煙鷗雨集』(明治44年<1911>)に読み下しと語訳・解説を加えて改題復刻。『漁煙鷗雨集』は、丹後国熊野郡の景勝地 久美浜を詠んだ江戸中期から明治末期までの詩歌を集めて、ほぼ年代順に一冊に編んだ六十余頁から成る活版印刷、大和綴じ装の小本で、明治44年に久美浜で京都府水産品評会が開かれた際に、記念品として頒布したもの。口絵／まえがき／凡例／漁煙鷗雨集 影印(稲葉宅蔵編)／過渡の久美浜 影印(稲葉翠窓)／「過渡の久美浜」に寄せて(宮地正人)／随得随記(稲葉翠窓)／解説(岡田志郎)／五人組御仕置帳(嘉永三年久美浜代官所)／口絵解説／あとがき

◆池田のわらべ歌

池田郷土史学会編 いけだ市民文化振興財団
(〒563-0056 大阪府池田市栄町1-1 阪急池田 プランマルシェ3番館 TEL072-750-3333) 2012年8月 A4 103頁

1983年(昭和58)頃から1986年(昭和61)にかけて、池田市在住の富張ミツエさんが市内の古老から集めた『池田のわらべ歌』全3集(わらべ歌を保存する会、1:昭和59年7月、2:昭和60年4月、3:昭和61年5月)を再分類してまとめる。池田市のわらべ歌112曲と市外各地のわらべ歌16曲を楽譜付にて収録した画期的なわらべ歌集。日本音楽史にとってかけがえのない記録(小島美子)／ジャンケン歌／手まり歌／身振り遊び歌／鬼遊び歌／歳時歌／子守歌／動物・植物の歌／外遊び歌／お手玉遊び歌／ことば遊び歌／ひやかし歌／尻取り歌／悪口歌／その他／各地のわらべ歌／伝承者一覧／伝承者と池田／採譜と音階(相良晴

久)／「わらべ歌」によせて(岸本良子)／編集にあたって(室田卓雄)／歌い出し索引

◆西宮の祭礼—だんじり巡行を支える人びと
西宮市立郷土資料館編・刊 (〒662-0944 兵庫県西宮市川添町15-26 TEL0798-33-1298) 2012年7月 B5 14頁
西宮市立郷土資料館の第28回特別展示の展示図録案内である。西宮においてかつて「村の祭礼」として位置づけられていただんじり巡行をとまなう祭礼の昔と現在の様子や、だんじり巡行を支える人びとについて紹介する。はじめに／西宮市内の「だんじり」／資料にみる西宮の「だんじり」／西宮の祭礼と今後のだんじり巡行

◆西宮歴史調査団年報 2010年度版
西宮市立郷土資料館編・刊 (〒662-0944 兵庫県西宮市川添町15-26 TEL0798-33-1298) 2012年9月 A4 42頁
西宮市立郷土資料館が実施した文化財調査ボランティア「西宮歴史調査団」の平成22年度における活動記録。平成22年度の経過／石造物の調査／橋梁の調査／街道の調査／地蔵の

調査

◆佐賀県に文書館を

佐賀県文書館をつくる会資料集
佐賀県文書館をつくる会編・刊 (片倉日龍雄 TEL0952-30-0839) 2012年7月 A4 57頁
2012年4月1日に佐賀県庁南別館で開館した佐賀県公文書館について、設立要望書の提出から尽力した佐賀県文書館をつくる会のこれまでの経過をまとめた資料集。佐賀県文書館をつくる会の活動経過(古川知事へ要望書(22年3月4日提出)、参考資料(発会記念誌から)、基調講演と新聞記事、賛同者の立場から)／佐賀県議会の論議／佐賀県総合計画2011に「公文書館の整備推進」採択／佐賀県公文書館オープン(暫定)／記録を残す視点／おわりに／付 最近出版された図書紹介

◆お詫びと訂正

前号 115掲載雑誌の誌名及び団体名に誤りがありました。お詫びして訂正します。
32頁右 誤「鉄砲史研究 日本鉄砲史学会」
正「銃砲史研究 日本銃砲史学会」

◆後記—

この夏、猛暑の中を明大大学史資料センター人権派弁護士研究会の合同調査で岩手県二戸郡一戸町小繋(こつなぎ)の小さな山深き集落を歩いた。大正6年、山の入会権を巡って地元農民が起こした訴訟「小繋事件」の舞台である。先祖代々生活の基盤としてきた山が近代土地所有権制度によって奪われた。裁判では宮城県石巻市出身で明大出の弁護士 布施辰治が農民側に立った。石巻文化センターに収蔵されていた弁護資料は津波で被災したものの幸いにも救出されて東北歴史博物館に仮保管されたが、現在見ることはできない。ところが、戦後まで続いた長い裁判の、布施資料を含む膨大な資料の写しが岩手大学附属図書館に「小繋事件文庫」として収蔵されていた。長年この事件に取り組んできた同大 早坂啓造名誉教授が、関係機関を丹念に博捜して写真撮影し、あるいは裁判所の廃棄資料などをこつこつと収集されていたのである。小繋を歩く前の日、同館で半日早坂先生の熱のこもったレクチャーを受け、つぶさに文庫を拝見。さらに場所を変えて夜遅くまで貴重なお話を伺った。資料は原本保存が大切だが、複本をとっておくことがどんなにか意義あることか痛感した。小繋から東京への帰路、再度盛岡に下車し、県立図書館の震災関連資料コーナーに足を運んだ。図書はもとより、チラシ、全国の地方紙、雑誌特集号に至るまで、質量共に大変に充実した内容で、感銘を深くした。(飯澤)

